

奥能登広域圏事務組合消防本部

輪島消防署

災害復旧工事（建築工事）

建 築 図						電気設備図			機械設備図		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺 (A1)	図面番号	図 面 名 称	縮 尺 (A1)	図面番号	図 面 名 称	縮 尺 (A1)	図面番号	図 面 名 称	縮 尺 (A1)
A -100	表紙・図面リスト	——	A -121	庁舎 展開図 6	1/50	E -301	電気設備工事仕様書 （1）	——	M -401	機械設備工事仕様書 （1）	——
A -101	改修工事仕様書 （1）	——	A -122	庁舎 展開図 7	1/50	E -302	電気設備工事仕様書 （2）	——	M -402	機械設備工事仕様書 （2）	——
A -102	改修工事仕様書 （2）	——	A -123	庁舎 展開図 8	1/50	E -303	電気設備工事仕様書 （3）	——	M -403	機械設備工事仕様書 （3）	——
A -103	改修工事仕様書 （3）	——	A -124	庁舎 展開図 9	1/50	E -304	電気設備 2階平面図（電灯他）	1/100	M -404	給排水衛生設備 屋外配管図	1/250
A -104	改修工事仕様書 （4）	——	A -125	庁舎 展開図 1 0	1/50	E -305	電気設備 立面図（電灯他）	1/100	M -405	給排水衛生設備 1階平面図（庁舎・車庫棟）（ピット・土間配管）	1/100
A -105	改修工事仕様書 （5） 【抜粋】	——	A -126	庁舎 展開図 1 1	1/50	E -306	屋外配線図（舗装復旧参考図）	1/400	M -406	給排水衛生設備 2階平面図（庁舎・車庫棟）	1/100
A -106	改修工事仕様書 （6） 【抜粋】	——	A -127	庁舎 天井伏図 1	1/100				M -407	空調設備 2階平面図（配管）	1/100
A -107	庁舎 仕上表 1	1/100	A -128	庁舎 天井伏図 2	1/100				M -408	換気設備 1階平面図（配管）	1/100
A -108	庁舎 仕上表 2	1/100	A -129	庁舎 建具表	1/100				M -409	換気設備 2階平面図（配管）	1/100
A -109	庁舎 仕上表 3	1/100	A -130	訓練塔 仕上表	1/50				M -410	冷暖房換気設備 3階平面図（配管）	1/100
A -110	庁舎 仕上表 4	1/100	A -131	訓練塔 平面図 1	1/50						
A -111	庁舎 1階平面図	1/100	A -132	訓練塔 平面図 2	1/50						
A -112	庁舎 2階平面図	1/100									
A -113	庁舎 3階・R階平面図	1/100									
A -114	庁舎 立面図 1	1/100									
A -115	庁舎 立面図 2	1/100									
A -116	庁舎 展開図 1	1/50									
A -117	庁舎 展開図 2	1/50									
A -118	庁舎 展開図 3	1/50									
A -119	庁舎 展開図 4	1/50									
A -120	庁舎 展開図 5	1/50									



株式会社 双 星 設 計

SOUSEI SEKKEI ARCHITECTS & ENGINEERS

[illegible]



26	排出ガス対策型建設機械	次に掲げる指定建設機械は、排気ガス対策型とする。 1) バックホウ 2) トラクターショベル 3) 変動発電機 4) 空気圧縮機 5) ローヤ類 6) ホイールクレーン	26	創意工夫等	工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。	26	保険の付与及び事故の補償	1) 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。 2) 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む） 3) 受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結1ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。	29	電子納品	※行う（「電子納品仕様書」による。） ※行わない 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出発管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 こていう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 <table><tr><th colspan="2">名 称</th></tr><tr><td>宮越工事電子納品要領（令和3年版）</td><td></td></tr><tr><td>官庁宮越事業に係る電子納品運用ガイドライン【宮越工事編】（令和3年版基準・要領類のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_ik2_000017.html</td><td></td></tr></table> 2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-R、DVD-R又はBR-Dで1部納品する。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 4 発注者が行うCALS/EC電子納品に関する調査について協力を行うものとする。	名 称		宮越工事電子納品要領（令和3年版）		官庁宮越事業に係る電子納品運用ガイドライン【宮越工事編】（令和3年版基準・要領類のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_ik2_000017.html		26	騒音振動の防止	低騒音（C） 低振動型建設機械を使用する。	31	隣接建物又は工作物の調査	※行う ※行わない	32	敷地の状況確認	着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電話ケーブル、給排水管及び架設物がなく関係機関の協力を得て確認し、報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。	33	総合評価時にあける技術提案	「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、受注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出のうえ、履行状況の確認を受ける。なお、受注者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員に協議する。	34	ダンプトラック等による過積載等の防止	1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 2) さし枠着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 3) 過積載車両、さし枠着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けること等、過積載を助長することのないようにすること。 4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5) 建設発生の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年8月2日法律第131号。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体への加入者の使用を促進すること。 7) 1から6につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。	35	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	2章 仮設工事				項目 特記事項				27	工事用水	構内既存の施設 ・利用できる（※有償・無償） ※利用できない	28	工事用電力	構内既存の施設 ・利用できる（※有償・無償） ※利用できない	29	工事用道路	工事用道路（敷地内外）は良好なる維持管理を行い、使用後は請負者において速やかに原形に復旧すること。	30	指定仮設	指定仮設の適用 ○仮囲い ・敷鉄板（※図示） 仮囲いは、下記により強風に対して倒壊、飛散等しない堅固な構造とし、事前に施工図を提出して監督員の承諾を受けること。 イ) 材料 ○鋼板 ・亜鉛波状鉄板 ○単管バリケード ロ) 高さ ○1.8m ・2.0m ・3.0m ハ) 塗装 する ○しない ・塗装品 ニ) 延長 m その他の指定仮設 （種別、規格、仕様）	31	足場その他	1) 外部足場 (1)足場の種類 ※枠組木足場（手すり先行足場） ・くびき緊結式足場（手すり先行足場） 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」（厚生労働省平成21年4月）の「動きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2(2)手すり措置又は3(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 (2) 建枠・布枠 <table><tr><th>建 枠</th><th>・1,200枠</th><th>○300枠</th><th>・600枠</th></tr><tr><th>布 枠</th><td>・500布枠×2枚</td><td>※500+240布枠 ・500布枠×1枚</td><td>・500布枠×1枚</td></tr></table> (3) 防護シート等による養生 ※ネット状養生シート又は養生シート ・防音パネル ・設置しない ・設置しない	建 枠	・1,200枠	○300枠	・600枠	布 枠	・500布枠×2枚	※500+240布枠 ・500布枠×1枚	・500布枠×1枚	32	内部足場	種別 ※きやたつ、足場板等	33	材料、撤去材の運搬方法	・A種 ※B種 ・C種 ○D種 ・E種	34	既存部分の養生	既存部分の養生方法 ・既存部分の養生方法、保管場所、固定された備品、机、ロッカー等の移動 ※ビニールシート等 ※ビニールシート等 ・行う（図示）	35	仮設間仕切	1) 仮設間仕切り種別 <table><tr><th>種 別</th><th>下 地</th><th>仕上り材（厚さmm）</th><th>充填材（mm）</th><th>塗 装</th></tr><tr><td>・A種</td><td>※軽量鉄骨</td><td>※せつこうボード（※9.5）</td><td>厚さ（ ）</td><td>※無し</td></tr><tr><td>○B種</td><td>・木造</td><td>・合板（※9）</td><td>厚さ（ ）</td><td>・有り</td></tr><tr><td>※C種</td><td>単管</td><td>防炎シート</td><td>厚さ（ ）</td><td>・有り</td></tr></table> 仮設扉 ※木製扉 ・合板張り程度 ・行う 厚さ（ ） ・有り	種 別	下 地	仕上り材（厚さmm）	充填材（mm）	塗 装	・A種	※軽量鉄骨	※せつこうボード（※9.5）	厚さ（ ）	※無し	○B種	・木造	・合板（※9）	厚さ（ ）	・有り	※C種	単管	防炎シート	厚さ（ ）	・有り	36	監督員事務所	※設ける ・既存建物の一部を使用 ・設けない 監督員事務所の規模（㎡） <table><tr><th>種 別</th><th>・1号</th><th>・2号</th><th>○3号</th><th>・4号</th><th>・5号</th></tr><tr><th>面 積</th><td>10程度</td><td>20程度</td><td>35程度</td><td>65程度</td><td>100程度</td></tr></table> 監督職員事務所に設ける備品等 ○保護鏡 ○遮光防止器具 ○遮光 ○黒板 ○黒紙 ○ホワイトボード ○監督員が指示するもの ○机 ○椅子 ※中電灯 ○音響 ・黒板 ○黒紙 ○ホワイトボード ○監督員が指示するもの	種 別	・1号	・2号	○3号	・4号	・5号	面 積	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	37	快速トイレ	・快速トイレを設置すること ※ 監督員へ提案・協議し、快速トイレを設置することができる 快速トイレを設置した場合は設計変更の対象とし、「快速トイレ実施要領」により費用を計上する。	38	危険物貯蔵所	シンナー等有機溶剤を使用する場合は、特に火災及び盗難について管理を徹底する。	39	仮設物撤去	原形復旧の方法・内容	40	公共災害防止等	建設工事公共災害防止対策要綱（建築工事編）及び建設創産物適正処理推進要綱等関係規定を順守して災害の防止に努めることとする。	41	防水工事の保証	防水工事の保証	42	アルミニウム製笠木	1) オープン形式アルミニウム製笠木の種類 <table><tr><th>種 別</th><th>板厚(mm)</th><th>表面処理及び色合い</th><th>固定間隔</th><th>下地補修</th></tr><tr><td>・100型</td><td>・1.5以上</td><td>※A-1又はB-1種（無着色）</td><td>建築基準法に基づき</td><td>※行う（図示）</td></tr><tr><td>・250型</td><td>・1.6以上</td><td>B-2種</td><td>指定する条件により</td><td>・行わない</td></tr><tr><td>・300型</td><td>・2.0以上</td><td>・ブラウン系</td><td>施工計画書に定める</td><td></td></tr><tr><td>・350型</td><td>・2.1以上</td><td>・ブラック</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ステンカラー</td><td></td><td></td></tr></table> 2) 既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ※図示） 3) 材料折曲げ形アルミニウム製笠木の取付方法 固定金具は「改修仕様」3.9.3(2)とし、それ以外の取付方法は図示による。	種 別	板厚(mm)	表面処理及び色合い	固定間隔	下地補修	・100型	・1.5以上	※A-1又はB-1種（無着色）	建築基準法に基づき	※行う（図示）	・250型	・1.6以上	B-2種	指定する条件により	・行わない	・300型	・2.0以上	・ブラウン系	施工計画書に定める		・350型	・2.1以上	・ブラック					・ステンカラー			43	外壁改修工事共通事項	4章-1 外壁改修工事共通事項	44	調査	調査範囲 ※外壁全面・図示の範囲 ・既存外壁仕上り材等撤去後の躯体面（仕上り材等撤去範囲） 調査内容 ひび割れの幅及び長さを書面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 コンクリート、モルタル及びタイル等のはがれ及びはく落部を書面に表示する。 また、欠損部の寸法形状等を調査する。 モルタル及びタイルの浮き部分を書面に表示する。 仕上り塗材等の劣化部分、はく落部分等を壁面に表示する。 また、既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※2部	45	改修使用材料	可とう性エポキシ樹脂 <table><tr><th>項目</th><th>引張り強さ(N/mm<sup>2</sup>)</th><th>伸び(%)</th><th>引張り接着性</th></tr><tr><td>常温特性</td><td>1.0以上</td><td>30.0以上</td><td>最大引張り応力(N/mm<sup>2</sup>) 破壊時の伸び(%)</td></tr><tr><td>低温性</td><td>1.0以上</td><td>30.0以上</td><td>1.0以上 10.0以上</td></tr><tr><td>加熱変化</td><td>1.0以上</td><td>30.0以上</td><td></td></tr><tr><td>比 重</td><td>表示値±0.10</td><td></td><td></td></tr><tr><td>押出し性</td><td>60秒 以下</td><td></td><td></td></tr><tr><td>スランプ</td><td>3.0mm 以下</td><td></td><td></td></tr><tr><td>加熱減重</td><td>5.0% 以下</td><td></td><td></td></tr></table> その他 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 3) 常温常湿（温度5℃～35℃、湿度45%～85%）において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後にあっても、品質・性能の各項目に適合していること。	項目	引張り強さ(N/mm <sup>2</sup> )	伸び(%)	引張り接着性	常温特性	1.0以上	30.0以上	最大引張り応力(N/mm <sup>2</sup> ) 破壊時の伸び(%)	低温性	1.0以上	30.0以上	1.0以上 10.0以上	加熱変化	1.0以上	30.0以上		比 重	表示値±0.10			押出し性	60秒 以下			スランプ	3.0mm 以下			加熱減重	5.0% 以下			46	ボリマーセメントモルタル	ボリマーセメントモルタル <table><tr><th>項目</th><th>曲げ強さ(N/mm<sup>2</sup>)</th><th>圧縮強さ(N/mm<sup>2</sup>)</th><th>接着強さ(N/mm<sup>2</sup>)</th></tr><tr><td>性 能</td><td>6.0以上</td><td>20.0以上</td><td>標準時 浸漬時 低温時</td></tr><tr><td>表面状態</td><td>だれの下がり量は5mm以内かつ、ひび割れの発生がないこと。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>透水性</td><td>裏面の濡れ、水滴の付</td></tr></table>	項目	曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	接着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	性 能	6.0以上	20.0以上	標準時 浸漬時 低温時	表面状態	だれの下がり量は5mm以内かつ、ひび割れの発生がないこと。			透水性	裏面の濡れ、水滴の付
	名 称																																																																																																																																																																																																																										
宮越工事電子納品要領（令和3年版）																																																																																																																																																																																																																											
官庁宮越事業に係る電子納品運用ガイドライン【宮越工事編】（令和3年版基準・要領類のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_ik2_000017.html																																																																																																																																																																																																																											
建 枠	・1,200枠	○300枠	・600枠																																																																																																																																																																																																																								
布 枠	・500布枠×2枚	※500+240布枠 ・500布枠×1枚	・500布枠×1枚																																																																																																																																																																																																																								
種 別	下 地	仕上り材（厚さmm）	充填材（mm）	塗 装																																																																																																																																																																																																																							
・A種	※軽量鉄骨	※せつこうボード（※9.5）	厚さ（ ）	※無し																																																																																																																																																																																																																							
○B種	・木造	・合板（※9）	厚さ（ ）	・有り																																																																																																																																																																																																																							
※C種	単管	防炎シート	厚さ（ ）	・有り																																																																																																																																																																																																																							
種 別	・1号	・2号	○3号	・4号	・5号																																																																																																																																																																																																																						
面 積	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																																																																																																																																																																																						
種 別	板厚(mm)	表面処理及び色合い	固定間隔	下地補修																																																																																																																																																																																																																							
・100型	・1.5以上	※A-1又はB-1種（無着色）	建築基準法に基づき	※行う（図示）																																																																																																																																																																																																																							
・250型	・1.6以上	B-2種	指定する条件により	・行わない																																																																																																																																																																																																																							
・300型	・2.0以上	・ブラウン系	施工計画書に定める																																																																																																																																																																																																																								
・350型	・2.1以上	・ブラック																																																																																																																																																																																																																									
		・ステンカラー																																																																																																																																																																																																																									
項目	引張り強さ(N/mm <sup>2</sup> )	伸び(%)	引張り接着性																																																																																																																																																																																																																								
常温特性	1.0以上	30.0以上	最大引張り応力(N/mm <sup>2</sup> ) 破壊時の伸び(%)																																																																																																																																																																																																																								
低温性	1.0以上	30.0以上	1.0以上 10.0以上																																																																																																																																																																																																																								
加熱変化	1.0以上	30.0以上																																																																																																																																																																																																																									
比 重	表示値±0.10																																																																																																																																																																																																																										
押出し性	60秒 以下																																																																																																																																																																																																																										
スランプ	3.0mm 以下																																																																																																																																																																																																																										
加熱減重	5.0% 以下																																																																																																																																																																																																																										
項目	曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	接着強さ(N/mm <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																																																																								
性 能	6.0以上	20.0以上	標準時 浸漬時 低温時																																																																																																																																																																																																																								
表面状態	だれの下がり量は5mm以内かつ、ひび割れの発生がないこと。																																																																																																																																																																																																																										
透水性	裏面の濡れ、水滴の付																																																																																																																																																																																																																										

④	浮き部改修工法	モルタルを撤去しない場合				[4.1.4][4.3.5][4.3.11~16]表4.3.5~6
		改修工法の種類		注入口の箇所数 (箇所/n <sup>2</sup> )		充填量 又は注入量 (ml/箇所)
		一般部	指定部	一般部	指定部	
		・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	※12 ・	※20 ・
		・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・
		・アンカーピンニング全面 ウレタン樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・
・注入口付カケツバ部分 エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・			※25 ・	
・注入口付カケツバ全面 エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・	
・注入口付カケツバ全面 ウレタン樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・	
アンカーピン						
材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの						
注入口付アンカーピン						
材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm						
4章-4 タイル張り仕上げ外壁改修工事						
特記事項						
1	既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで				
2	ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面) ※樹脂注入工法				
[4.1.4][4.2.5][4.4.5~6]						
※樹脂注入工法						
注工工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m)						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0以下 ※200～300 ※						
・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3以下 ※50～100 ※40						
模倣式エポキシ樹脂注入工法 0.3超え～0.5以下 ※100～200 ※70						
模倣式エポキシ樹脂注入工法 0.5超え～1.0以下 ※150～250 ※130						
[4.4.5]						
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)						
検査(コア採取) ※行わない						
・行う(張取り部の補修方法: )						
・リカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去面)						
[4.1.4][4.2.4][4.2.6]						
充填材料						
種別備考						
・シーリング材 ※1成分成形又は2成分形成ポリウレタン系シーリング材 ※行わない ・行う						
・可とう性エポキシ樹脂 4.2.4による						
3	欠損部改修工法	・タイル部分張替え工法 張付け材料 ※ポリマーセメントモルタル ・接着剤(JIS A 5557に基づく一液反応硬化形の变成シリコーン樹脂系) ・タイル張替え工法 張付け材料 ※張付けモルタル(・現場調合・既調合) ・接着剤(JIS A 5557)に基づく二液反応硬化形の变成シリコーン樹脂系)				
4	浮き部改修工法	タイルを撤去しない場合 [4.1.4][4.4.5][4.4.9~15]表4.3.5~6				
改修工法の種類 カケツバの本数(本/n <sup>2</sup> ) 注入口の箇所数(箇所/n <sup>2</sup> ) 充填量又は注入量(ml/箇所)						
一般部指定部一般部指定部						
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※25 ※12 ※20 ※25 ※25 ※25 ※50 ※25 ※25 ※50 ※25 ※50						
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20						
・アンカーピンニング全面 ウレタン樹脂注入工法 ※9 ※16 ※12 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20 ※20						
・注入口付カケツバ部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25						
・注入口付カケツバ全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25						
・注入口付カケツバ全面 ウレタン樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25						
・注入口付カケツバ全面 リン酸樹脂注入工法固定工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25 ※25						
アンカーピン						
材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの						
注入口付アンカーピン						
材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm						
4章-5 仕上塗材仕上げ外壁改修工事						
特記事項						
1	既存塗装等の除去及び下地処理	既存塗装の劣化部の除去及び下地処理の工法 [4.5.4][4.5.4~7]				
工法処理範囲						
※サンダー工法 ※既存仕上げ面全体 ・ひび割れ部改修工法						
・高圧水洗工法 ※既存仕上げ面全体 ・浮き部改修工法						
・塗膜はく離剥離工法 ※既存仕上げ面全体 ・欠損部改修工法						
・水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体						
2	下地調整材	※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル [4.5.4]				
3	凸凹塗材塗り	種別及び凸凹処理仕上げ [4.6.2]表4.6.1				
種別仕上げ仕上材塗り						
A種凸凹処理仕上げアクリアル樹脂エマルジョン						
B種凸凹処理仕上げつや有合成樹脂エマルジョンペイント						
5章 建具改修工事						
特記事項						
①	一般事項	①改修工法 ・かぶせ工法 ・撤去工法 [5.1.3] 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ②防犯建物部品 ※建具表による [5.1.7] ③防火戸 [5.1.4]				
防火性能 ・防火設備(建具番号)						
防火戸の開閉機構 ・特定防火設備(建具番号)						
防火戸の閉鎖機構 ・自動開閉機構(建具番号)						
・ヒューズ装置と連動(建具番号)						
・熱感知器と連動(建具番号)						
・煙感知器と連動(建具番号)						
④見本の製作等						
・建具見本の製作(建具番号)						
・特殊な建具の仮組(建具番号)						
⑤建具回り等の充填モルタル						
防水剤(モルタルに混入する防水剤の品質)						
項目混合割合凝結及び安定性(JIS R 5201)曲げ及び圧縮強度比(%)吸水率透水率						
品質セメント質量始発1時間以上終結10時間以内収縮性、膨脹性のひび割れそりがなくこと						
⑥取付け調整等						
・フランド						
・カーテンボックス						
外部に面する建具の性能等級 [5.2.2][5.2.4]表5.2.1						
種別耐風圧性気密性水密性枠見込み(mm)施工箇所						
A種S=4※A=3※W=4※70(注)共						
B種S=5※A=4※W=5※100						
C種S=6※A=4※W=5※100						
防音ドアアセット ※適用は建具表による						
断熱ドアアセット ※適用は建具表による						
耐震ドアアセット ※適用は建具表による						
表面処理 [5.2.4]表5.2.2						
施工箇所種別色合い等						
外部建具						
※B B-1種無着色						
※B B-2種※標準色(・ブラウン系・ブラック・ステンカラー)						
内部建具						
※AC-1種又はBB-1種無着色						
※AC-2種又はBB-2種※標準色(・ブラウン系・ブラック・ステンカラー)						
3 網戸						
防虫網						
網の種類 ・合成樹脂製 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)						
形式 ※外部可動式 ・固定式 [5.2.3~4]						
4 樹脂製建具						
1) 外部に面する建具の性能等級 [5.3.2][5.3.4]表5.3.1						
種別耐風圧性気密性水密性枠見込み(mm)施工箇所						
A種S=4※A=3※W=4※60・80						
B種S=5※A=4※W=5※100						
C種S=6※A=4※W=5※125						
2) 表面色 ※白色(・)						
3) ガラス ※複層ガラス ・単層ガラス ・三重ガラス [5.3.4][5.3.5]						
5 鋼製建具						
1) 簡易気密窓の簡易気密ドアアセット性能値 [5.4.2]表5.4.1						
※適用する(適用箇所は建具表による)						
2) 外部に面する建具の耐風圧性 [5.4.2]表5.2.1						
・S=4 ・S=5 ・S=6						
3)						



⑬	軽量鉄骨天井下地	4) 防腐・防蟻処理 防腐処理 ・ 薬剤塗布 (適用範囲) ( ) 防腐処理 ・ 薬剤塗布 (適用範囲) ・ 薬剤塗布 (適用範囲) 防腐・防蟻等は、コロリポリホス等含まない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督職員に提出し承諾を受ける。 防腐・防蟻処理の方法 現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。	[6.5.5]	5) 防虫処理 ラワン材を使用する場合は、「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分K1の防虫処理を行う。	[6.5.5]	6) 県産材使用証明 ㊤ 木材及び合板等は、品質や出荷等を記録した出荷証明書を提出する。 また、設計図書において、県産材の使用が明記されている場合は、工事受注者（資材の発注者）は、合法木材供給事業者の認定を受けた納品者が発行する「県産材産地及び合法木材証明書」及び「納品書」（合法木材団体認定番号及び産地名が（石川県産）と明記されたもの）を監督員に提出するものとする。	[6.5.2]
		1) 形式及び寸法 ダブル野縁 ・ mm ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を【施工計画書】による品質計画で定める。	[6.6.3] [6.6.4]	2) 工法 引抜き試験 ・ 適用する ・ 適用しない 屋外の場合の試験 荷重 ・ 400N 箇所数 ・ 当該階において3箇所程度 ・ 図示 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ・ 行う 補強箇所 ※ 図示 ・ 補強方法 ※ 図示 ・	[6.6.4]		
		1) 形式及び寸法 スタッド、ランナーの種類 ・ 50形 ○65形 ○90形 ・ 100形 ※スタッドの高さによる区分に応じた種類	[6.7.3]表6.7.1				
		種 類 JISの記号 厚さ (mm) 、規格等 ・ 硬質毛セメント板 ㊤ HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 再生の木質材又は植物繊維の質量比割合が50%以上であること、但し体積比20%以下の接着剤、混和剤の質量は除くことができる。 ・ 普通毛セメント板 ㊤ NW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 浮床材用板 ㊤ MDF ・ ・ パーティクルボード ㊤ ○ けい酸カルシウム板 タイプ2 (無石綿) ○ ロックワール化粧板 DR ※フラットタイプ (※9 ・ 12 ・ ) ・ ロックワール化粧板 (軒天井用) ※フラットタイプ9 ( (個) 不燃) ○ セッコウボード CB-R 12.5 (不燃) (チーパージョイント施工箇所は図示) ・ 不燃積層セッコウボード CB-NC 9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様) ・ シーキングセッコウボード CB-S 12.5 ( (個) 不燃) ○ 強化セッコウボード GB-F ※12.5 (不燃) ・ 15.0 (不燃) ・ セッコウラスボード GB-L 9.5 ・ 化粧セッコウボード (木目) GB-D 12.5 (不燃) 幅440mm程度 模様 (※柱目 ・ 板目) 専用下地材付き JIS K6903による 厚さ1.2 ・ メラミン樹脂化粧板 ・ 難燃合板 ㊤			[6.13.2]表6.13.1		
		軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音率・施工 ※適用する ・ 適用しない			[6.13.2]		
		施 工 (不燃・準不燃 1090円/㎡程度) 素地ごしらえ			[6.14.3]		
		下地の種類 素地ごしらえの種類 鉄鋼面 ・ A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ※B種 コンクリート面等 ・ A種 ※B種 モルタル及び石膏スター面 ・ A種 ※B種 セッコウボード面 ・ A種 ※B種			[6.13.2]表7.3.1		
		モルタル塗り 既製目地材 ※適用しない ・ 適用する			[6.15.3]		
		7章 装 装 改 修 工 事					
		項 目 特 記 事 項					
①	材料	屋内の壁・天井仕上げ材は、防火材料とする。					
②	下地調整	既存塗膜の除去範囲 (塗替えて「改修仕様」表7.2.1～表7.2.7のR・B種の場合) ※劣化部分 下地調整 表7.2.1～7	[7.2.1]				
③	素地ごしらえ	素地ごしらえ 表7.3.1～7	[7.3.1～7]				
4	錆止め塗料塗り	SOPまたはE・P・Gの場合 表7.4.3 下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの種類 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ※C種 見え隠れ ※A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ※B種 ※C種 鋼製建具等 ※A種 ・ B種 その他 ※B種 D.Pの場合 表7.4.3 下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの種類 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ※C種 表7.4.6による	[7.4.3]表7.4.3表7.4.5 [7.4.3]表7.4.4表7.4.6				

⑭	軽量鉄骨壁下地	1) 形式及び寸法 スタッド、ランナーの種類 ・ 50形 ○65形 ○90形 ・ 100形 ※スタッドの高さによる区分に応じた種類	[6.7.3]表6.7.1		
		種 類 JISの記号 厚さ (mm) 、規格等 ・ 硬質毛セメント板 ㊤ HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 再生の木質材又は植物繊維の質量比割合が50%以上であること、但し体積比20%以下の接着剤、混和剤の質量は除くことができる。 ・ 普通毛セメント板 ㊤ NW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 浮床材用板 ㊤ MDF ・ ・ パーティクルボード ㊤ ○ けい酸カルシウム板 タイプ2 (無石綿) ○ ロックワール化粧板 DR ※フラットタイプ (※9 ・ 12 ・ ) ・ ロックワール化粧板 (軒天井用) ※フラットタイプ9 ( (個) 不燃) ○ セッコウボード CB-R 12.5 (不燃) (チーパージョイント施工箇所は図示) ・ 不燃積層セッコウボード CB-NC 9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様) ・ シーキングセッコウボード CB-S 12.5 ( (個) 不燃) ○ 強化セッコウボード GB-F ※12.5 (不燃) ・ 15.0 (不燃) ・ セッコウラスボード GB-L 9.5 ・ 化粧セッコウボード (木目) GB-D 12.5 (不燃) 幅440mm程度 模様 (※柱目 ・ 板目) 専用下地材付き JIS K6903による 厚さ1.2 ・ メラミン樹脂化粧板 ・ 難燃合板 ㊤			[6.13.2]表6.13.1
		軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音率・施工 ※適用する ・ 適用しない			[6.13.2]
		施 工 (不燃・準不燃 1090円/㎡程度) 素地ごしらえ			[6.14.3]
		下地の種類 素地ごしらえの種類 鉄鋼面 ・ A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ※B種 コンクリート面等 ・ A種 ※B種 モルタル及び石膏スター面 ・ A種 ※B種 セッコウボード面 ・ A種 ※B種			[6.13.2]表7.3.1
		モルタル塗り 既製目地材 ※適用しない ・ 適用する			[6.15.3]
		8章 環 境 配 慮 改 修 工 事			
		項 目 特 記 事 項			
		1	石綿含有建材の処理	1) 事前調査 あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 目視及び臭気する設計図書等により石綿含有建材の有無について調査する。 調査範囲 ・ 図示 貸与資料 ・ 2) 分析による石綿含有建材の調査 ・ 行う ・ 行わない 分析方法	[1.5.4]
		3) 石綿検じん濃度測定 ・ 行う (表による) ・ 行わない 測定値 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと) ・ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 各2点 ・ 各3点 (注1) ・ 測定2 施工区画周辺又は敷地境界 ・ 各2点 (大気) ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 各2点 ※ 測定4 セキュリティーゾーン入口 ・ 各1点 ※ 測定5 員圧・除じん装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec (処理作業室外の場合) 以下の位置 ・ 各1点 ・ 測定6 施工区画周辺又は敷地境界 ・ 4方向各1点 ※ 測定7 処理作業後 処理作業室内 ・ 各2点 ・ 測定8 (隔離シート撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 ・ 4方向各1点 (大気) (注1) 各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下または2点、300㎡以下または3点とする、300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。 測定方法 ・ 自動測定機による測定 測定名称 測定方法 ・ 測定4 粉じん相対湿度計 (デジタル粉じん計) ・ パーティクルカウンター、繊維状粉子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・ JIS K 3850-1に基づいた測定 測定名称 測定方法 ・ 測定4 カリマン直径 (mm) 試料の吸引流量 (L/min) 試料の吸引時間 (min) ・ 測定5 25 5 30 ・ 測定 120 ・ 測定 45 10 120 ・ 測定 45 10 240 ・ 測定 ・			

⑮	せっこうボード、 その他ボード及び 合板張り	1) リサイクル製品の使用	1) リサイクル製品を使用するものは「石川県エコ・リサイクル認定製品」を優先的に使用すること。 石川県エコ・リサイクル認定製品 ・ 使用する 使用箇所 製品 備考 「石川県エコ・リサイクル認定製品」は、石川県のホームページを参照する。 http://www.pref.ishikawa.jp/ (石川県 生活環境部 資源循環推進課) 2) その他、リサイクル製品の使用に努めるものとする。 3) 建設産物リサイクル製品を使用した場合、下記掲示板を設置する。(但し、工事請負代金が1,000万円以上のもの) 看板の寸法は90cm×60cm程度とする。 この建築工事でリサイクル製品として ○○○○○○○○、○○○○○○○○○ を使用しています。 R 建設産物リサイクル シンボルマーク (注) 建設産物シンボルマークのデザインは監督員に確認すること	[9.1.3]~6	
		9章 リ サ イ ク ル 製 品			
		項 目 特 記 事 項			
		10章 そ の 他			
		項 目 特 記 事 項			
		① 輪島市休 2日工事 1) 適用 工事現場において週休2日に取り組む「輪島市週休2日工事」。(以下、「週休2日工事」という。)の適用については、次のとおりとする。 なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、輪島市の「週休2日工事の実施について」を参照すること。 ※ 発注者指定型 ○ 施工者希望型 (災害復旧工事の場合のみ) 2) 発注者指定型の内容 (1) 受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 (2) 受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を工事工程表 (様式1を標準とする。)に記入し、監督員に提出・共有すること。 (3) 受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。 (4) 受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。 (5) 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 (6) 当初設計において、週休2日 (4週8休以上、現場閉所率28.5% (8日/28日) 以上) を前提に補正係数1.05により労務費 (予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価・市場単価及び物価資料の掲載価格 (材工事単) の労務費) を補正している。 (7) 発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合は、(6)の補正分を減額する。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。 3) 施工者希望型の内容 (1) 受注者は、現場着手までに、協議書 (様式2) により週休2日工事の実施の有無を発注者と協議すること。協議の結果、週休2日工事を行わない場合は、以下の(2)から(8)は実施しない。 (2) 受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 (3) 受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を工事工程表 (様式1を標準とする。)に記入し、監督員に提出・共有すること。 (4) 受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。 (5) 受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。 (6) 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 (7) 当初設計において、週休2日 を前提とした計上をしていない。 (8) 発注者は、週休2日 (4週8休以上、現場閉所率28.5% (8日/28日) 以上) の確保が確認できた場合、補正係数1.05により労務費を補正し、請負代金額を変更する。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。			[9.1.3]~6
		改訂履歴			
		平成14年4月1日 平成15年7月1日 平成15年10月1日 平成16年4月1日 平成16年4月1日 平成17年4月1日 平成17年6月1日 平成18年4月12日 平成18年7月3日 平成19年10月1日 平成20年4月1日 平成21年4月1日 平成21年8月1日 平成22年4月6日 平成23年4月1日 平成24年4月1日 平成25年4月1日 平成26年4月1日 平成27年4月1日 平成28年4月1日 平成29年4月1日 平成29年7月1日 平成30年4月1日 令和2年4月1日 令和3年4月1日 令和3年5月1日 令和4年4月1日 令和5年4月1日			

特記事項	確認日	確認者	代表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	工事名称 (プロジェクトNo. 240602) 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事 (建築工事)	図面名称 改修工事仕様書 (4)
								縮尺 年月日	図面番号 A104

[illegible]



20章ユニット及びその他工事

項目

特記事項

1耐震リソット

方向

タイプ

耐火性能

防水性能

・直道方向

※完全（全貫通型）リソット

・耐火型

・有り

・水平方向

・部分リソット

・非耐火型

・無し

2E&Nベソツノメの金物

目地

内壁（幅×深さ）

外壁（幅×深さ）

目地材

シーリング材（見え掛かりのみ）

シーリング材（内外とも）

目地寸法（mm）

※20×10

※20×10

3止水板

材質

クリアランス

耐火性能

防水性能

・アルミ

・ステンレス

・50

・100

・150

・あり

・なし

・あり

・なし

4フリーアクセスフロア

形状

・差込式

・据置式

・壁張り式

施工箇所

※図示

5可動間仕切

構造形式

パネル部の総厚さ（mm）

表面材種

仕上げ

遮音性（透過損失）

遮音材料の認定

※パネル式

・スタッド式

・スタッドパネル式

・

※鋼板（※0.5）

・

※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け

・36dB以上

・

注1

耐荷重性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものと同等のものとする。

注2

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。

6移動間仕切

遮音性能による区分

厚さ（mm）

表面材

表面仕上げ（注2）

操作方法

施工箇所

・一般タイプ

・

※鋼板

・焼付け塗装

・壁紙張り

・手動式

・電動式

・部分電動式

・遮音タイプ（注1）

・

※鋼板

・焼付け塗装

・壁紙張り

・手動式

・電動式

・部分電動式

注1

JIS A 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。

注2

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事14壁紙張りによる。

7トイレブース

表面仕上げ材

脚部の形状・材質

ドアエッジの形状・材質

※メラミン樹脂系化粧板

※幅木タイプ

・アルミニウム

・フラット形

※アルミニウム製

※ポリエステル樹脂系化粧板

・支柱タイプ

・ステンレス

・曲面形

・ステンレス製

8手すり

材料の種類

表面処理

※ステンレスSUS304

※H L程度

・鏡面程度

・

・鉄

亜鉛めっき

外部

※C種

・

9階段滑止め

材種

ステンレスSUS304

形状

ビルタイヤ入り

両端フラットエンド

※有り（・ステンレス製

※ビル製）

・無し

幅（mm）

約35

取付け工法

※接着工法

・埋込み工法

10階段手すり

種別

仕上り等

手すり径等（mm）

施工箇所

・集成材（市販品）

※クリアラッカー

・45

・

・ビル製ハンドル

・耐候性タイプ

・50（幅）

・

※アルミ製

塩ビ被覆

・

・34

・40

・ステンレスパイプ

・H L

・40

・

・鋼製パイプ

・

・

・

11～20削除

21床点検口

本体の材質

目地の材質

適用箇所

寸法（mm）

※アルミ製

※アルミ・ステンレス・黄銅

下記以外全て

※600×600

品質及び性能等

品質・規格及び性能

材質

JIS H 4100 A6063Sによる

表面処理

アルミニウム板

JIS H 4000 A1100PH24による

表面処理

ステンレス製

JIS G 4305（目地材はG 4308も含む）のSUS304による

表面処理

寸法許容差（mm）

受け寸法の許容差

±0.5

蓋枠寸法の許容差

±0.5

受け枠と蓋枠のクリアランス（片側）

2.0以内

耐荷重性能

荷重P n =1,000 Nにおける蓋中央部の残留変形

点検口有効径の0.08％以内

たわみ

耐破壊荷重

荷重値P nの2倍以上

22収納家具・書架・物品棚

品質

主要構造部材の材質

形状寸法（mm）

備考

・収納家具

JIS S1033（用収納家具）による

・鋼製

・木製

・図示

JIS S1039による種類

・1種

・2種

・3種

・書架

JIS S1039（書架物品棚）による

・鋼製

・図示

JIS S1039による種類

・5種

・6種

・7種

・物品棚

・鋼製

・図示

JIS S1039による種類

・5種

・6種

・7種

移動式書架・物品棚

・図示

・図示

・図示

2階書庫

可動書棚

ホルムアルデヒドの放数量

※規制対象外

・第3種

23かざ箱

市販品

形式

・30組用

・60組用

・120組用

24くつきマソット

市販品

材質

・塩化ビニル製（コイル状

ステンレス製受枠）

・ビニル製（ステンレス製受枠）

・硬質アルミニウム製（受枠とも）

・ステンレス製（受枠とも）

25流し台ユニット

種類

寸法（L×mm）

適用内容

規格・品質等

・流し台

※1200

・1500

・1800

トラップ付き

※優良住宅部品（※バソツノメⅡ型）

・コンロ台

※600

・700

・

バックガード

※有り

・つり戸棚

※1200

・900

・800

・

・

・水切り棚

※1200

・900

・

ステンレス製

※1段式

※市販品

26屋内掲示板

枠の材質

※アルミニウム製

表面の材質

※塩ビ発泡シート張り

・

27洗面カウンター

材質

・メラミン樹脂化粧張り（心材：集成材）

・人工大理石（仕様は図示）

奥行き（mm）

・約450

・約600

28防煙垂れ壁

・固定式

・

材質

厚さ（mm）

高さ（mm）

備考

・網入り層板ガラス

※6.8

・

アルミ製枠付き

・線入り層板ガラス

・

・

・

・可動式

・

・

・

種類

材質

高さ（mm）

備考

・垂直降下式（巻取り型）

不燃布（不燃認定品）

※500

・800

・

ガイドレール

※固定式（壁埋込型）

・可動式（天井収納型）

・回転降下式

鋼板製又はアルミ製

※500

・800

・

表面仕上げ

※天井材張り

・

29敷地境界石標

・かこう岩（文字記号等入り）

※コンクリートブロック製の市販品程度

30旗竿

材質

※アルミニウム合金製

形式

※テーパー型

・同一断面型

地上高さ（m）

・6

・8

・10

・12

操作方法

※ハンドル式

・ロープ式

固定方法

・埋込式

・ベース式

・バンド式

31旗竿受金物

材質

ステンレス製SUS304

32フェンス

・耐雪型

・一般型

・ビル被覆工キスバンドフェンス

・樹脂塗装メッシュフェンス

・鋼管フェンス

33屋外掲示板

照明器具

※有り

・無し

施設

※有り

・無し

製造所

・

34車止め支柱

・ステンレス製（上下式鎖内蔵型、反射テープ付き）

径165mm

t =2.5mm

H =G L +850mm

・図示

※スプリング付

・スプリング無し

35建築銘板

建築銘板の設置等は、下記による。

（イ）設置

・設置する

・設置しない

（ロ）材料、大きさ

・黒又は白御影石を磨き仕上げ（450×600×25）

・アクリル樹脂板（450×600×10）

（ハ）記入内容（参考）

45（60）

工事名

完成

令和

年月

日

（監修）

設計

監理

建築（業者名を記入する）

電気（業者名を記入する）

給排水（業者名を記入する）

空調（業者名を記入する）

合併処理（業者名を記入する）

昇降機（業者名を記入する）

21章排水工事

項目

特記事項

1排水管

排水管材料

材質

管の種類

管形状（接合方法）

※速心力鉄筋コンクリート管

※V P

・V U

・

○硬質ポリ塩化ビニル管

※V P

・V U

・

・樹脂硬質塩化ビニル三層管

※R S

・V U

・

2排水溝及びふた

種類

適用荷重

鍵

○水封形

・密閉形（テーパー・パッキン式）

○T-2用

・T-6用

・T-20用

○簡易密閉形（パッキン式）

・中ふた付密閉形（テーパー・パッキン式）

・T-20用

・

○U字溝用

・

・

・

3埋戻し土

※B種

○建設汚泥から再生した処理土

※G

22章舗装工事

項目

特記事項

1盛土に用いる材料

・A種

※B種

・C種

・D種

○建設汚泥から再生した処理土

※G

※汚泥の場合：セメント固化材特殊土用汚泥処理防固材165kg/m<sup>3</sup>

2凍上抑制層の材料

※再生クラッシャーラン

・クラッシャーラン

・切り込み砂利

3路床

1）路床安定処理

※添加材料による安定処理

種類

・普通ポルトランドセメント

・フライアッシュセメントB種

・高炉セメントB種

※G

・生石灰（）

・消石灰（）

添加量

165 kg/m<sup>3</sup>（目標C B R ※5以上）

・ジオテキスタイルによる安定処理

ジオテキスタイルの品質

単位面積質量

60 g/m<sup>2</sup>以上

厚さ（mm）

0.5～1.0

引張り強さ

98 N/5cm（10kgf/5cm）以上

透水許数

1.5×10cm/sec以下

2）透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ

車道部

※150mm

・（）

歩道部

※50mm

・（）

3）路床土の支持力比試験

※行う（※乱した土・乱さない土）

4）路床締固め度の試験

※行う

5）砂の粒度試験

※行う

4路盤

1）材料

※G

※再生クラッシャーラン（R C-40）

・クラッシャーラン鉄鋼スラグ（C S-40）

2）路盤の厚さ

舗装の種類

路盤の厚さ（mm）

車道部

歩道部

アスファルト舗装

・100

・150

・250

・300

・100

コンクリート舗装

・150

・

・

・

・100

カラー舗装

・100

・150

・250

・300

・100

透水性アスファルト舗装

・100

・150

・250

・100

インターロッキングブロック舗装

・100

・150

・250

・100

3）路盤の締固め度試験

※行う

5アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ

（22.4.2）

部位

舗装の厚さ（mm）

基層

表層

車道部（基層なし）

・50

・

・50

・

車道部（基層あり）

・50

・

・30

・

歩道部

・

・

・30

・

アスファルト

※再生アスファルト

※G

・ストレートアスファルト

（22.4.3）

再生加熱アスファルト混合物の種類

（22.4.4）（表22.4.4）

区分

※冷地地域

※寒冷地域

表層

※密粒度アスファルト混合物（I3）

※密粒度アスファルト混合物（I3F）

シールコート

※行わない

・行う（施工範囲：）

（22.4.5）

アスファルト混合物の抽出試験

※行わない

・行う

（22.4.6）

6コンクリート舗装

早強セメント

※使用しない

・使用する

（22.5.3）

注入材料

※低弾性タイプ

・高弾性タイプ

（22.5.2）（表22.5.2）

海棲金剛

※有り

○無し

大寸：土間0.04H D100@150以下（検査経路アンカ）100～06000

（22.5.3～4）

厚さ試験

※行う

・行わない

（22.5.6）

7カラー舗装

カラー舗装の種類

（22.6.2～4）（表22.6.1～2）

種類

車道部の基層

着色骨材等

顔料の添加量等

カラー舗装の厚さ（mm）

※アスファルト混合物

※なし

・着色骨材（焼成）

・5～7％

※0

・石油樹脂系混合物

・あり

・着色骨材（樹脂被覆）

・％

・30

・樹脂系混合物

・自然石

・5～10

・

・ニート工法

・エメリー

・3～5

・

・塗布工法

・

・

1程度以下

・

8透水性アスファルト舗装

9ブロック系舗装

種類

寸法（mm）

厚さ（mm）

目地材

表面加工

※普通平板（N）

※300角

※60

※砂

・磨き出し

・洗い出し

・透水平板（P）

・

・

・モルタル

・たたき出し

・インターロッキングブロック舗装

曲げ強度

5N/mm<sup>2</sup>以上

事道部

※80

・

※標準タイプ

・誘導・注意喚起用タイプ

・透水タイプ

・植生タイプ

製造所

JIS A 5371による。

・舗石舗装

種類

厚さ（mm）

施工方法

基層

※小舗石（花こう岩）

※80～100

・

※ミチゴ張り

※コンクリート舗装

・アスファルト舗装

路面表示用塗料

規格番号

種類

施工時の条件

適用

寸法（mm）

色彩

JIS K 5665

・1種

※G

常温

液状

幅

※150

・

※白（ホリホト）

・2種

※G

加熱

幅

※150

・

・黄（ホリホト）

・3種

1号

※G

溶融

粉体状

厚さ

※1.0

・

・

揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5％以下とする。

23章植栽工事

項目

特記事項

1土壌の酸度、塩分量試験

※行う

（23.1.3）

2樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類

（23.2.2～3）（表23.2.2～2）

適用

有効土層の厚さ（cm）

工法

整備範囲

※行う

・行わない

※20

・

※B種

・

※植栽範囲

・図示

樹木

（23.2.2～3）（表23.2.1～2）

樹木の樹高（m）

有効土層の厚さ（cm）

工法

整備範囲

・12以上

※100

・

※A種

・

※葉張りの範囲

・7以上～12未満

※80

・

・B種

・

ただし、低木は植栽範囲

・3以上～7未満

※60

・

・C種

・

・図示

○3未満

※50

・

・D種

・

・

工法D種以外の工法で現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

3植込み用土

※現場発生の良質土

・客土（※畑土・黒土）

（23.2.3）

4土壌改良材

※適用する

（23.2.3～4）

施工箇所

※植栽範囲

・図示

○バソツノメⅡ型

有機物の含有量（乾物）

：70％以上

炭素窒素比（C/N比）

：35以下

陽イオン交換容量（乾物）

：70meq/100g以上

p H

：5.5～7.5

水分

：55～65％

幼植物試験の結果

：生育阻害その他の異常が認められない

窒素含量（乾物）

：0.5％以上

りん酸含量（乾物）

：0.2％以下

カリウム含量（乾物）

：0.1％以上

・発酵下水汚泥コンポスト

「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用し、かつ、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。

ひ素

：0.005％以下

カドミウム

：0.0005％以下

水銀

：0.0002％以下

ニッケル

：0.03％以下

クロム

：0.05％以下

鉛

：0.01％以下

有機物の含有量（乾物）

：35％以上

炭素窒素比（C/N比）

：30以下

p H

：5.5以下

水分

：50％以下

窒素含量（現物）

：0.8％以上

りん酸含量（現物）

：1.0％以上

アルカリ分（現物）

：15％以下

5支柱材

※丸太又は間伐材

※G

・竹

（23.3.2）

6幹巻き用テープ

※幹巻き用テープ

・わら及びこも

（23.3.2）

7芝張り

種類

※こうらい芝

・野芝

（23.3.4）（23.3.6）（23.4.7）（23.5.5）

8枯植槽

※1年

・

（23.3.4）（23.3.6）（23.4.7）（23.5.5）

9吹付け種

種子の種類

※芝芝類又はクローバー（採取後2年以内）

（23.4.2）

種子の量

※発芽率80％以上

（23.4.2）

10屋上緑化

植栽基盤及び材料

（23.5.2～3）

・屋上緑化システム

土壌層の厚さ

・図示

保水・排水層

・軽量骨材（層の厚さ：）

・板状成型品

植込み用土

※改良土

・人工軽量土

樹木の材質

寸法、株数、寸法等

※図示

・屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の樹種並びに種類等

※図示

固定方法は、「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を1.2.2（施工計画書）による品質計画で定める。

支柱

・設置する（種類・図示）

かん水装置

・設置する（工事区分は図示による）

特記事項

確認日

確認者

代表

設計監理部長

検証者

主担当

作成

縮尺

年月日

工事名称（プロジェクトNo. 240602）  
奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署  
災害復旧工事（建築工事）

図面名称  
改修工事仕様書（6）  
（建築工事仕様書（抜粋））

図面番号  
A106

240602

2025

02

A3 1/200





## ■ 内部仕上表

階	室名		内装制限	内装 仕様	床		床高	巾 木（特記外 H60）		H	壁		柱 型	天 井		C H （F L）	梁 型	付属品		備 考			
					下地（特記外 コンクリート直均し）	スラブ高	下地	下地（特記外 LCS下地 GB-R t12.5）※平面図参照	下地		下地（特記外 LCS下地）	ファイバーグラス		カーテンボックス	ビクナール			廻縁					
1階	消防署男性用・女性用仮眠室 女性用更衣室（1）	改修前	（難）	自然排煙	タイルカーペットt6.5 セルフレベリング	±0 -10	木製巾木 OSUC	60	下地（特記外） LCS下地 GB-R t12.5 ※平面図参照 シナ合板t5.5目透し貼り OSUC	60	ビニルクロス クロス一部損傷 部分撤去 下地ボード一部損傷 部分撤去 シナ合板t5.5目透し貼り OSUC	同左	DR t9.0 GB-R t9.5 下地ボード共 撤去	同左	D R t9.0 G B-R t9.5 女性仮眠室天井損傷はらみ 復旧 下地ボード共 復旧	2700		○		塩ビ製 塩ビ製	更衣用台（別途）、畳上げ、消火器収納台（床置） 仮眠台 柱・天井スキマ部 変成シリコン20×20 三角シール打設 ※ビニルクロスは建設時の品番の近似柄張替でも可		
		改修後			既存のまま	既存のまま																	
	洗面・脱衣室（1）		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	ビニル床シートt2.0 セルフレベリング 一部シンダーコンクリートt100下地	±0・+100 -10	ビニル巾木	60		ビニルクロス		GB-R t9.5		同左	GB-R t9.5	2400 2500				塩ビ製	手洗い枦、鏡、土が丸、更衣棚、三方枧 SUS上櫃	
	特別室		（難）	自然排煙		合板t12+タタミt55 一部化粧縁甲板t15 木下地	+100 -10	タタミ寄せ	-		ビニルクロス	同左	シナ合板t5.5目透し貼り OSUC GB-R t9.5		同左	シナ合板t5.5目透し貼り OSUC GB-R t9.5	2400				木製	棚板、SUS製床柱、落掛け	
	前室（特別室）		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	合板t12+化粧縁甲板t15 一部ビニル床シートt2.0 木下地 一部セルフレベリング	±0・+100 -10	木製巾木 OSUC	60		ビニルクロス		GB-R t9.5 ビニルクロス	2400 2500		同左	GB-R t9.5 ビニルクロス	2400 2500				木製	木上櫃、棚板；SUS t3曲げ加工
	収納（特別室）		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	シナ合板t12 木下地	+100 -10	雑巾摺り	-		GB-R t12.5（素地）		GB-R t12.5（素地）	2400		同左	GB-R t12.5（素地）	2400				木製	中段、枕棚
洗面・洗濯室	改修前	（準）	自然排煙		ビニル床シートt2.0 セルフレベリング	±0 -10	ビニル巾木	60		ビニルクロス	同左	GB-R t9.5	2500		同左	GB-R t9.5	一部天井 設備機器損傷部 撤去	2500	○		塩ビ製	洗面台、用棚、手洗い枦、土が丸 洗濯機、鏡 天井内 換気扇吊金物 補修の上復旧（設備）	
	改修後			既存のまま	既存のまま																		
脱衣室		（準）	自然排煙		ビニル床シートt2.0 シンダーコンクリートの上、セルフレベリング	+100 -10・-200	ビニル巾木	60		ビニルクロス	同左	GB-R t9.5	2400		同左	GB-R t9.5		○			塩ビ製	入浴台、用棚、三方枧、SUS上櫃、棚 枧、土が丸、土が丸	
出勤準備室	改修前	（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床 一部 ハツリ Uカット撤去 ※0.2未満微細床クラックは既存のまま	±0 -10	ビニル巾木 一部 損傷部撤去	60		EP EP下地ボード取付金具損傷部のみ 部分撤去 EP塗替（補修範囲 色合わせ塗装）（家具転倒防止金具 復旧 共） 下地ボード損傷部補修（部分張替）及び 下地処理の上	同左	GB-R t9.5	3000		同左	既存のまま					塩ビ製	防火用台、受理用机（別途）、中量棚（別途）、床点検口 一般用台（別途）、用台（別途）、屋内消火栓（設備工事） 厚膜型エポキシ樹脂塗床；ABC商会ケミクリート 防滑工法 同等品	
	改修後			樹脂系塗床（エポキシ樹脂系 糸巾W200程度）復旧 クラック エポキシ樹脂系Mの補修の上	±0 -10	ビニル巾木 一部 復旧																	
消毒室		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床 防水モルタル	±0～-20 -50	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200		化粧ケイカル板t6		化粧ケイカル板t6 GB-R t9.5	3000		同左	化粧ケイカル板t6 GB-R t9.5					塩ビ製	納付台（別途）、下流し、流し台、排水溝、枦上げ ラック	
救急物品庫		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床	±0	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200		化粧ケイカル板t6		ケイカル板t6 EP	3000		同左	ケイカル板t6 EP					塩ビ製	薬品収納棚、床点検口	
外部トイレ		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	磁器質タイル300×300 防水モルタル	±0 -50	磁器質タイル コンクリート立上り	100		化粧ケイカル板t6	同左	ケイカル板t6 EP 一部天井 設備機器損傷部 撤去	2500		同左	ケイカル板t6 EP	一部天井 設備機器損傷部 撤去	2500				塩ビ製	枧、土が丸、鏡 天井内 換気扇吊金物 補修の上復旧（設備）
				既存のまま	既存のまま																		
油保管庫		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床	±0 -10	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200		化粧ケイカル板t6	同左	化粧ケイカル板t6 GB-R t9.5	3500		同左	化粧ケイカル板t6 GB-R t9.5					塩ビ製	消火器収納台（床置）、防油堤（H500） 釜場（300×300×H300）	
ポンプ室（1）		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床	±0 -10	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200		EP	同左	GB-R t9.5	2500		同左	GB-R t9.5					塩ビ製	マホト	
工作室		（不）		告示1436号 4号ニ-（4）	樹脂系塗床	±0 -10	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200		EP	同左	GB-R t9.5	3000		同左	GB-R t9.5					塩ビ製	工作机（別途）	
空気充填室・ボンベ保管庫		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床	±0 -10	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200		EP	同左	GB-R t9.5	3000		同左	GB-R t9.5					塩ビ製	枦棚（別途）	
廃棄物庫		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床	±0 -10	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200		化粧ケイカル板t6		化粧ケイカル板t6 GB-R t9.5	2500		同左	化粧ケイカル板t6 GB-R t9.5					塩ビ製	中量棚（別途）	
コンプレッサー室		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床	±0 -10	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200		EP	同左	GB-R t9.5	2500		同左	GB-R t9.5					塩ビ製		
消防・救急・車両 資機材庫		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床	±0 -10	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200		EP	同左	GB-R t9.5	3000		同左	GB-R t9.5					塩ビ製	中量棚（別途）	
消防署用車庫・消防本部用車庫	改修前	（準）	自然排煙		樹脂系塗床 一部 ハツリ Uカット撤去	-30～-200 -40～-210	樹脂系塗床 コンクリート立上り	230 400		ALC t100 吹付塗装 一部ケイカル板t6（素地） ケイカル板t6 損傷部 撤去 既存のまま ケイカル板t6（素地）損傷部 張替復旧	SOP 鉄骨表し SOP 鉄骨表し	SOP デッキ表し 既存のまま	直天 鉄骨表し								-	消防署用車庫：中量棚（別途）、消火器収納台（床置）、屋内消火栓（設備工事） 消防本部用車庫：中量棚（別途）、防火衣庫（別途）、消火器収納台（床置） 消防本部用車庫：オーバースライズ、一部パネル取替、復旧 厚膜型エポキシ樹脂塗床；ABC商会ケミクリートE 流しのべ工法 同等品	
	改修後			樹脂系塗床（エポキシ樹脂系 糸巾W200程度）復旧 クラック エポキシ樹脂系Mの補修の上	±0 -40～-210	樹脂系塗床 コンクリート立上り																	
乾燥室		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床	±0 -10	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200		化粧ケイカル板t6		ケイカル板t6 EP塗	3000		同左	ケイカル板t6 EP塗					塩ビ製	乾燥棚（別途）、物干し、丸、丸乾燥用SUS t4 収納台（別途）	
準備室	改修前	（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床	±0 -10	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200		EP	同左	GB-R t9.5	3000		同左	GB-R t9.5	一部天井 設備機器損傷部 撤去	3000				塩ビ製	
	改修後			既存のまま	既存のまま																		
資機材庫		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床	±0	樹脂系塗床	200		EP	同左	GB-R t9.5	3000		同左	GB-R t9.5					塩ビ製	中量棚（別途）、枦棚（別途）	
ポンプ室（2）		（不）		告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床	±0 -10	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200		EP	同左	GB-R t9.5	2500		同左	GB-R t9.5					塩ビ製		

特記事項											確認日			雙 星 設 計 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)	工事名称 (プロジェクトNo. 240602) 奥能登広域圏事務組合消防本部 輪島消防署 災害復旧工事 (建築工事)		図面名称		
																	仕上表 (2)		
											確認者				代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作成
																縮尺	年月日	図面番号	
																A3 1/200	2025 . 02 .	A108	



## ■ 内部仕上表

		室名		内装制限		床		床高		巾 木（特記外 H60）		壁		柱 型		天 井		梁 型		付属品		備 考		
				排理		下地（特記外 コンクリート直均し）		スラブ高		下地		下地（特記外 LGS下地 G B-R t12.5） ※平面図 参照		下地		下地（特記外 LGS下地）		C H（F14）		下地				
2階	12	ホール	改修前	準	自然排煙	タイルカーペットt6.5 セルフレベリング	±0	ビニル巾木	±0	60	E P 一部LGS下地コンパネt12の上、木レンガt15～t30ランダム貼り 木レンガ部はガラスクロス張り（不燃NM-3726） E P下地ボード一部損傷 部分撤去 E P塗替（補修範囲 色合わせ塗装）（既存T地GB-Ft12.5+12.5 両面） 下地ボード損傷部補修（部分張替）及び 下地処理の上	同左	D R19.0 G B-R19.5	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左
			改修後			既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま
	廊下（2）		不		※※1436号 4号ニ-（2）	ビニル床シートt2.0 セルフレベリング	±0 -10	ビニル巾木	±0 -10	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	同左	
3階	13	廊下（3）	改修前	準	自然排煙	タイルカーペットt6.5 セルフレベリング	±0	ビニル巾木	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	同左	
			改修後			既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま
	消防本部用事務所	改修前	難	自然排煙	フリーアクセスフロアH150+タイルカーペットt6.5	±0	ビニル巾木	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	
4階	14	打合せコーナー	改修後			既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	
			改修前	難	自然排煙	フリーアクセスフロアH150+タイルカーペットt6.5	±0	ビニル巾木	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左
	給湯室（2）		不		※※1436号 4号ニ-（2）	フリーアクセスフロアH150+ビニル床シートt2.0	±0	ビニル巾木	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	同左	
5階	15	消防長室	改修前	難	自然排煙	フリーアクセスフロアH150+タイルカーペットt6.5	±0	ビニル巾木	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	同左	
			改修後			既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま
	消防長用洗面・更衣室	改修前	不		※※1436号 4号ニ-（2）	ビニル床シートt2.0 セルフレベリング	±0	ビニル巾木	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	同左	
6階	16	書庫・物品庫	改修後			既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	
			改修前	不	自然排煙	フリーアクセスフロアH150+タイルカーペットt6.5	±0	ビニル巾木	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左
	大会議室	改修前	難	自然排煙	タイルカーペットt6.5 セルフレベリング	±0	木製巾木 O S U C	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	
7階	17	収納庫・倉庫	改修後			既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	
			改修前	不	自然排煙	タイルカーペットt6.5 セルフレベリング	±0	木製巾木 O S U C	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左
	男性用・女性用更衣室（2）	改修前	不		※※1436号 4号ニ-（2）	ビニル床シートt2.0 セルフレベリング	±0	ビニル巾木	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左
8階	18	食堂	改修後			既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	
			改修前	難	自然排煙	タイルカーペットt6.5 セルフレベリング	±0	木製巾木 O S U C	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左
	厨房		不		※※1436号 4号ニ-（4）	ビニル床シートt2.0 セルフレベリング	±0	ビニル巾木	±0	60	化粧ケイカル板t6	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	同左	
9階	19	休憩コーナー	改修前	難	自然排煙	合板t12+タタミt55 一部化粧緑甲板t15 木下地	+400 -10	タタミ寄せ	-	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	同左	
			改修後			既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま
	トレーニング室		難	自然排煙	フローリングt15 セルフレベリング	±0 -30	木製巾木 O S U C	±0 -30	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	
10階	20	作戦室・通信指令室	改修前	難	自然排煙	免震フロアの上、フリーアクセスフロア+タイルカーペットt6.5（高制電仕機） セルフレベリングt10	±0 -360	ビニル巾木	±0 -360	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	同左	
			改修後			既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま
	指令室用事務所	改修前	難	自然排煙	フリーアクセスフロアH150+タイルカーペットt6.5（高制電仕機） 樹脂系塗床	±0 -150	ビニル巾木	±0 -150	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	
11階	21	サーバー室	改修後			既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	
			改修前	難	自然排煙	ビニル床シートt2.0 セルフレベリング	±0 -10	ビニル巾木	±0 -10	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左
	洗面・脱衣室（2）		難	自然排煙	ビニル床シートt2.0 セルフレベリング	±0 -10	ビニル巾木	±0 -10	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	
12階	22	共用トイレ		不		※※1436号 4号ニ-（2）	ビニル床シートt2.0 セルフレベリング	±0	ビニル巾木	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	
			改修後			既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま
	給湯室（3）		不		※※1436号 4号ニ-（2）	ビニル床シートt2.0 セルフレベリング	±0	ビニル巾木	±0	60	ビニルクロス	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	同左	
13階	23	消防本部男性用・女性用仮眠室	改修前	難	自然排煙	タイルカーペットt6.5 セルフレベリング	±0	木製巾木 O S U C	±0	60	シナ合板t5.5目透し貼り O S U C ビニルクロス 一部クロス損傷部 部分撤去 下地ボード一部損傷 部分撤去	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	G B-D19.5	同左	同左	
			改修後			既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま	既存のま






特記事項											確認日			<div>雙 星 設 計</div> <div>一級建築士 中村 武剛 (登録番号174376号)</div>	工事名称 (プロジェクトNo. 240602)	図面名称					
													奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署		仕上表 (3)						
													災害復旧工事 (建築工事)								
											確認者			代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	縮尺	年月日	図面番号
																			A3 1/200	2025 . 02 .	A109

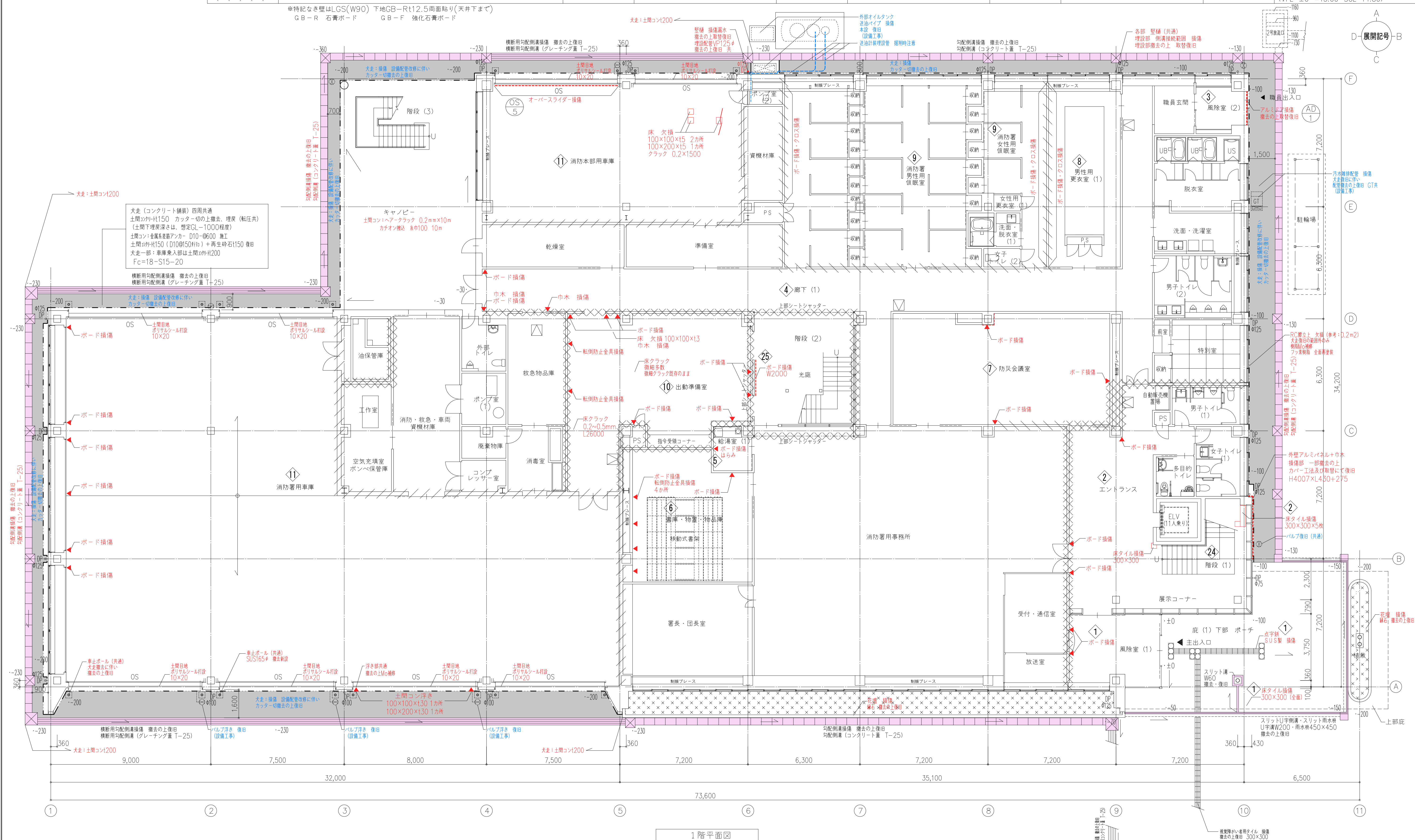


■ 内 部 仕 上 表

階	室 名			内装制限		床	床高	巾 木（特記外 H60）		壁	柱 型	天 井		梁 型	付属品			備 考		
				内装	排煙	下地（特記外 コンクリート直均し）	スラブ高	下地	H	下地（特記外 LGS下地 GB-R t12.5） ※平面図 参照	下地	下地（特記外 LGS下地）	C H (F.L.)	下地	ファイバーグラス	オーブンガラス	ビタキレール	廻縁		
3 階		機械室、電気室、発電機室		不	告示1436号 4号ニ-（2）	樹脂系塗床（防塵仕様）	±0 -10	樹脂系塗床 コンクリート立上り	200	グラスウール吸音材t50 一部ALC t100 吹付塗装	同左	グラスウール吸音材t50	通天	同左					設備基礎、防油堤（H200）、消火器収納棚（床置）	
		チャンバー室		不	告示1436号 4号ニ-（2）	塗膜防水	±0 -10	塗膜防水 コンクリート立上り	500	ALC t100素地 一部ケイカル板t6素地	同左	素地 デッキ表し	通天	素地 鉄骨表し						
共用	24	階段（1）		改修前	準	自然排煙	タイルカーペットt6.5 モルタル		S O P サザラPL	-	E P 一部LGS下地コンパネt15の上、ホレンガt20～t50ランダム貼り （既存T地GB-F t12.5+t2.5 両面）		S O P 段裏スチールPL	S O P				-	カギ、手摺、点字版	
				改修後			既存のまま		既存のまま		E P塗替（補修範囲 色合わせ塗装） ボード損傷部 下地処理の上		既存のまま		鉄骨表し					
	25	階段（2）		改修前	準	自然排煙	ビニル床シートt2.0 モルタル		S O P サザラPL	-	ビニルクロス クロス一部損傷 部分撤去 下地ボード一部損傷 部分撤去	同左	S O P（最上階 GB-D t9.5） 段裏スチールPL	S O P			量ビ製	カギ、手摺 屋内消火栓（設備工事）		
				改修後			既存のまま		既存のまま		ビニルクロス（部分張替） 下地ボード損傷部補修（部分張替）及び 下地処理の上	同左	既存のまま		鉄骨表し				※ビニルクロスは建設時の品番の近似柄張替でも可	
	32	男子トイレ		改修前	難	自然排煙	ビニル床シートt2.0 セルフベリング	±0 -10	S U S	50	化粧ケイカル板t6	同左	GB-D t9.5 一部天井 設備機器損傷部 撤去	2500		○		量ビ製	カギ、手洗い枦、Ht7-L鏡、汚重石、手摺	
				改修後								同左	GB-D t9.5 天井設備機器廻り 復旧	2500					2階男子トイレ3：天井内 換気扇吊金物 補修の上復旧（設備）	
			女子トイレ		不	告示1436号 4号ニ-（2）	ビニル床シートt2.0 セルフベリング	±0 -10	S U S	50	化粧ケイカル板t6	同左	GB-D t9.5	2500		○		量ビ製	カギ、手洗い枦、Ht7-L鏡、手摺	
	26		収納（廊下、厨房）	改修前	不		ビニル床シートt2.0 セルフベリング	±0 -10	ビニル巾木	60	ビニルクロス 廊下収納 クロス一部損傷 収納（3）のみ クロス損傷部 撤去	同左	GB-D t9.5	2500				量ビ製	棚板	
				改修後			既存のまま		既存のまま		収納（4） ビニルクロス 入庫取合部 三角シール（15×15）変成シリコン 打設 収納（3） ビニルクロス損傷部 下地処理の上クロス（本棚）部分張替	同左	既存のまま						※ビニルクロスは建設時の品番の近似柄張替でも可	
その他		収納（仮眠室）				自然排煙	タイルカーペットt6.5 セルフベリング	±0 -10	木製巾木 O S U C	60	シナ合板t5.5目透し貼り O S U C	同左	DR t9.0 GB-R t9.5	2700		○		量ビ製	棚板、仮眠マス	
		P S		不		樹脂系塗床（防塵仕様）	±0 -10			素地 LGS表し	素地 鉄骨表し	素地 デッキ表し	通天	素地 鉄骨表し				-		
		ピット				エポキシ樹脂塗床 土間コンクリート	-2300 -			コンクリート打放し補修	同左	ポリエチレンフォーム保温板t30打込み	通天	遊歩版し懸				-	釜場（600×600×H500）、カギ 連通管（150φ半割り）、通気管（100φ）、入通孔（600φ）	
		消火水槽				ポリマーセメント防水	-1820 -1820			ポリマーセメント防水	同左	ポリエチレンフォーム保温板t30打込み	通天				-	釜場（600×600×H500）、カギ 連通管（150φ半割り）、通気管（100φ）、カギ		
		EVピット				ポリマーセメント防水	-1250 -1250			ポリマーセメント防水			通天					-		



<del>LW-1</del>	ALC t100+LGS (W90) 下地GB-Rt12.5片面張り (スラブ下まで) (異種用途区画)	◦ DP	焼結	赤 平 青 地	建築に関する損傷部分 設備項目を伴う損傷部分		床点検口 (600×600)	上段 下段	仕上レベル (各階F Lから) 構造スラブレベル (各階F Lから) 特記なき限り $\pm 0$ -10
<del>LW-2</del>	LGS(W90) 下地GB-Ft12.5+12.5両面貼り(スラブ下まで) (面積区画)	■ RSD	横引ルーフトレイン				マンホール (600φ)		
<del>LW-3 (P)</del>	スチールパーティション (天井下まで)	◦ RD	縦引ルーフトレイン				損傷室 番号 (内部仕上 参照)		
<del>LW-4</del>	LGS(W90) 下地GB-Rt12.5両面貼り(スラブ下まで)		水勾配を示す				犬走 (土間コン) カッター切		
							犬走 (土間コン) カッター切	・-200	外構レベルを示す (1F Lから) (1F L:±0.0, 土留:±15.00, SGL=14.80)



特記事項	※外部舗装、会所並びに勾配側溝の設置レベル及び仕上天端は基本的に建設時（既存）レベルへ新設復旧する事とし、被災後やむを得ない箇所については現状レベルに合わせ協議の上施工する事。
------	--

※復旧の際は、レベル測量を行う事。

※掘削の際は、埋設配管に細心の注意を払い施工する事。

確認日

[illegible]

株式 双 星 計 画

一級建築士 中村 健司 (登録番号174376号)

設計監理部長	検証者	主担当	作
--------	-----	-----	---

工事名称	(プロジェクトNo	240602	)
------	-----------	--------	---

奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署  
（災害旧工事）（建築工事）

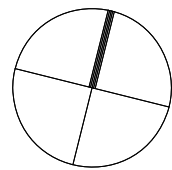
火害復旧工事 (延床工事)	
竣工	年月日

图面名称	图面内容
图 1	...
图 2	...
图 3	...
图 4	...
图 5	...
图 6	...
图 7	...
图 8	...
图 9	...
图 10	...
图 11	...
图 12	...
图 13	...
图 14	...
图 15	...
图 16	...
图 17	...
图 18	...
图 19	...
图 20	...
图 21	...
图 22	...
图 23	...
图 24	...
图 25	...
图 26	...
图 27	...
图 28	...
图 29	...
图 30	...
图 31	...
图 32	...
图 33	...
图 34	...
图 35	...
图 36	...
图 37	...
图 38	...
图 39	...
图 40	...
图 41	...
图 42	...
图 43	...
图 44	...
图 45	...
图 46	...
图 47	...
图 48	...
图 49	...
图 50	...
图 51	...
图 52	...
图 53	...
图 54	...
图 55	...
图 56	...
图 57	...
图 58	...
图 59	...
图 60	...
图 61	...
图 62	...
图 63	...
图 64	...
图 65	...
图 66	...
图 67	...
图 68	...
图 69	...
图 70	...
图 71	...
图 72	...
图 73	...
图 74	...
图 75	...
图 76	...
图 77	...
图 78	...
图 79	...
图 80	...
图 81	...
图 82	...
图 83	...
图 84	...
图 85	...
图 86	...
图 87	...
图 88	...
图 89	...
图 90	...
图 91	...
图 92	...
图 93	...
图 94	...
图 95	...
图 96	...
图 97	...
图 98	...
图 99	...
图 100	...

庁舎 1階平面図

10/10



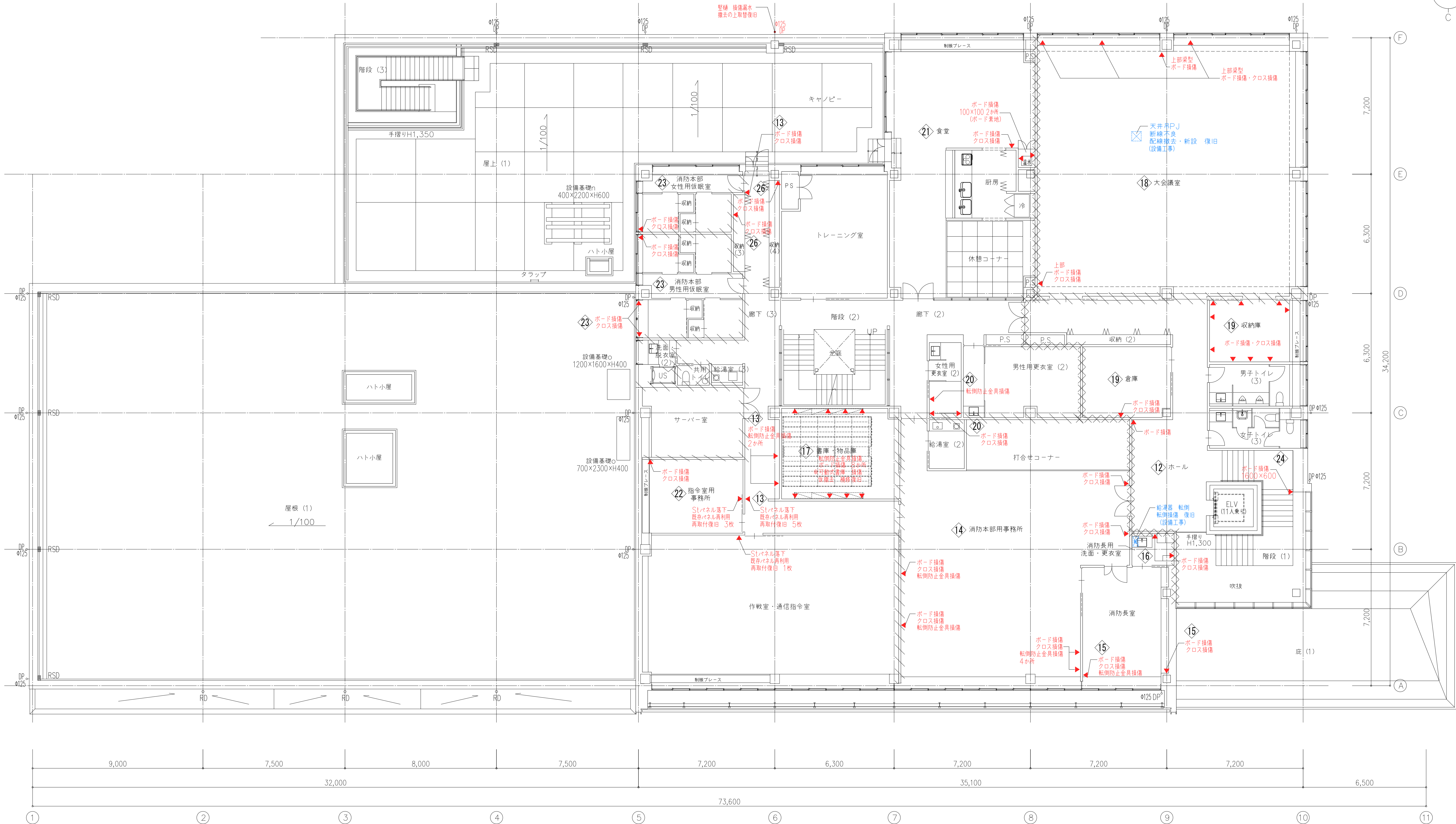


◆凡例

	ALC t100+LGS (W90) 下地GB-Rt12.5片面張り (スラブ下まで) (異種用途区画)	○ DP	縦樋	赤 字	建築に関する損傷部分		床点検口 (600×600)		仕上レベル (各階F Lから)
	LGS(W90) 下地GB-Ft12.5+12.5両面貼り(スラブ下まで) (面積区画)	■ RSD	横引ルーフトレイン	青 地	設備項目を作る損傷部分		マンホール (600φ)		構造スラブレベル (各階F Lから)
	スチールパーティション (天井下まで)	○ RD	縦引ルーフトレイン				損傷室 番号 (内部仕上表 参照)		特記なき限り $\pm 0$ -10
	LGS(W90) 下地GB-Rt12.5両面貼り(スラブ下まで)	←	水勾配を示す						

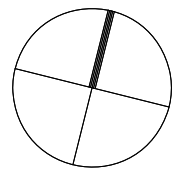
※特記なき壁はLGS(W90) 下地GB-Rt12.5両面貼り(天井下まで)  
GB-R 石膏ボード GB-F 強化石膏ボード

A  
D—展開記号—B  
C



2階平面図

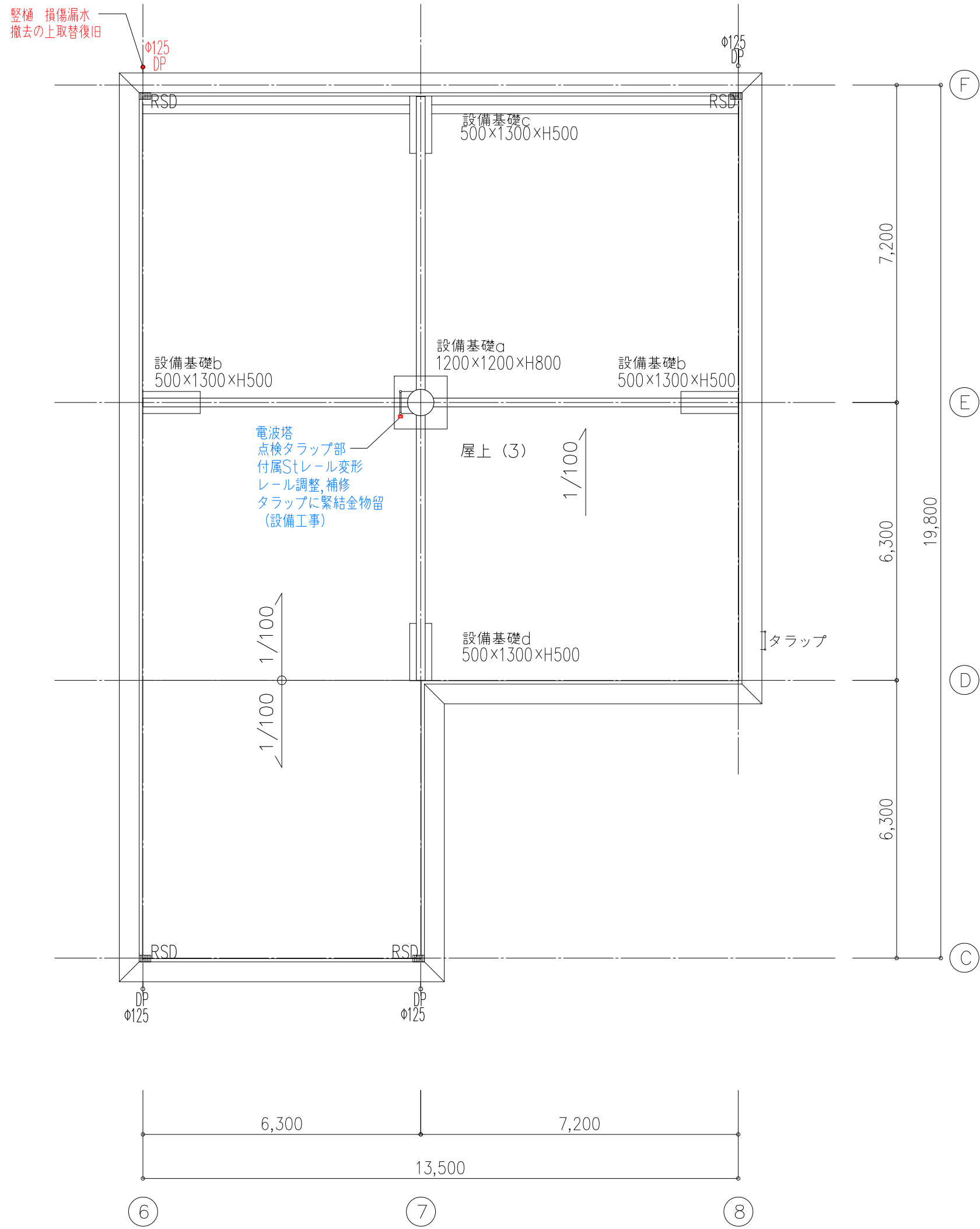
特記事項						確認日			設計 双 星 設 計				工事名称 (プロジェクトNo. 240602) 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事 (建築工事)		図面名称 庁舎 2階平面図							
									一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)													
						確認者			代 表		設計監理部長		検証者		主担当		作成					
																		縮尺 A3 1/200		年月日 2025 . 02 .		図面番号 A112



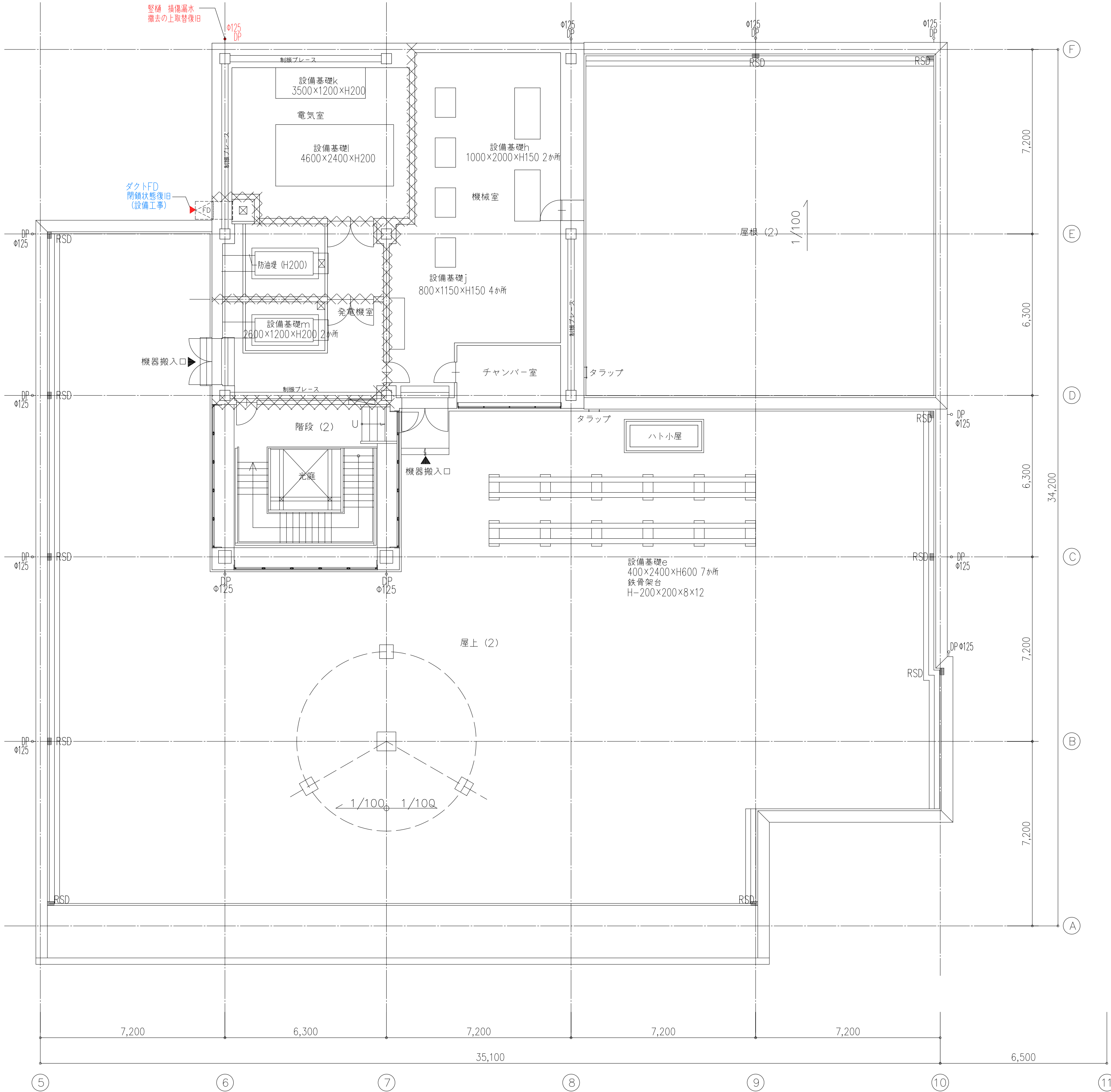
◆凡例

	ALC t100+LGS (W90) 下地GB-Rt12.5片面張り (スラブ下まで) (異種用途区画)	○ DP	縦樋	赤字 青地	建築に関する損傷部分 設備項目を作る損傷部分		床点検口 (600×600)	<div>上段</div> <div>下段</div>	仕上レベル (各階F.L.から) 構造スラブレベル (各階F.L.から) 特記なき限り <div>±0</div> <div>-10</div>
	LGS(W90) 下地GB-Ft12.5+12.5両面貼り(スラブ下まで) (面積区画)	■ RSD	横引ルーフドレイン				マンホール (600φ)		
	スチールパーティション (天井下まで)	○ RD	縦引ルーフドレイン				損傷室 番号 (内部仕上表 参照)		
	LGS(W90) 下地GB-Rt12.5両面貼り(スラブ下まで)	←	水勾配を示す						

※特記なき壁はLGS(W90) 下地GB-Rt12.5両面貼り(天井下まで)  
GB-R 石膏ボード GB-F 強化石膏ボード



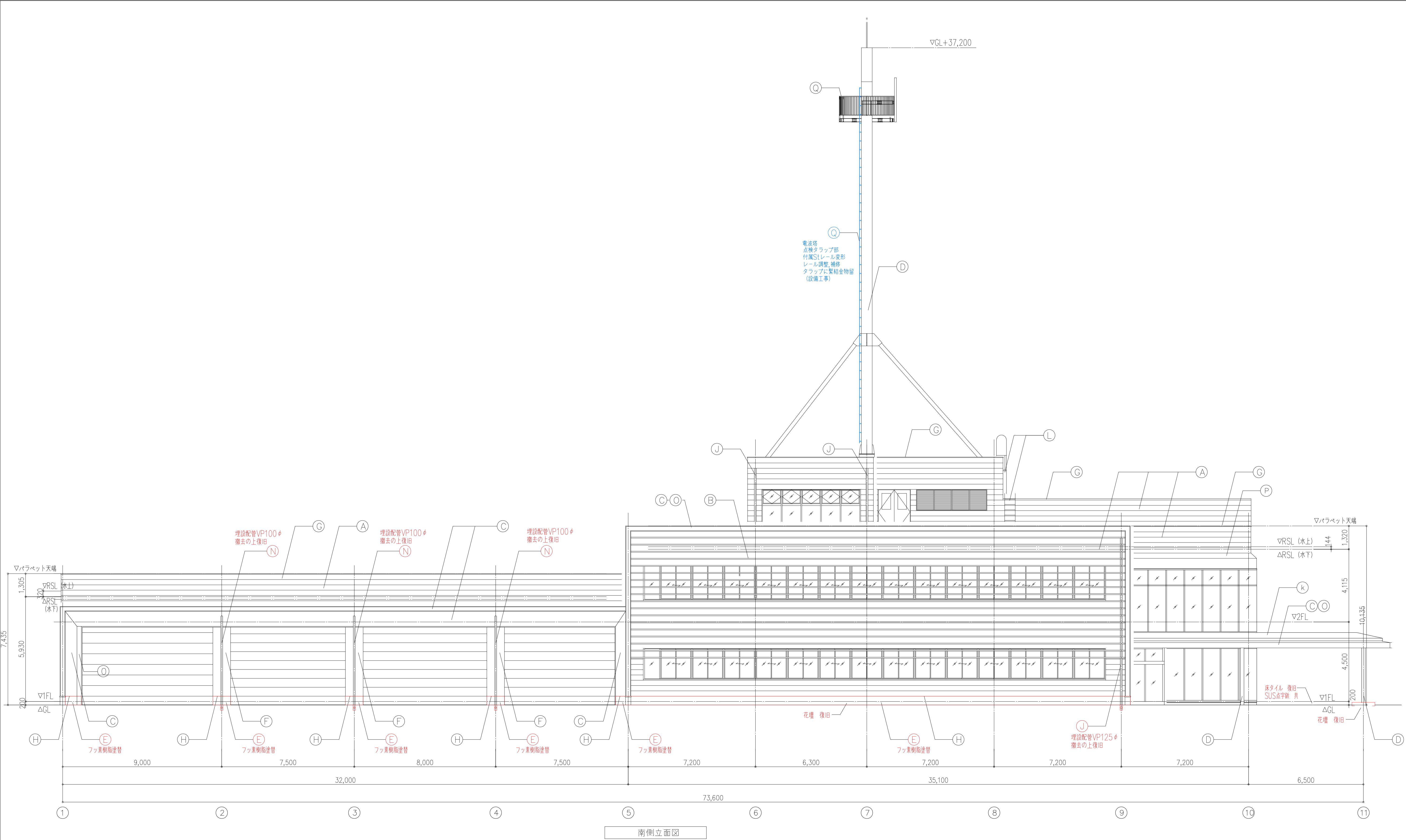
R階平面図



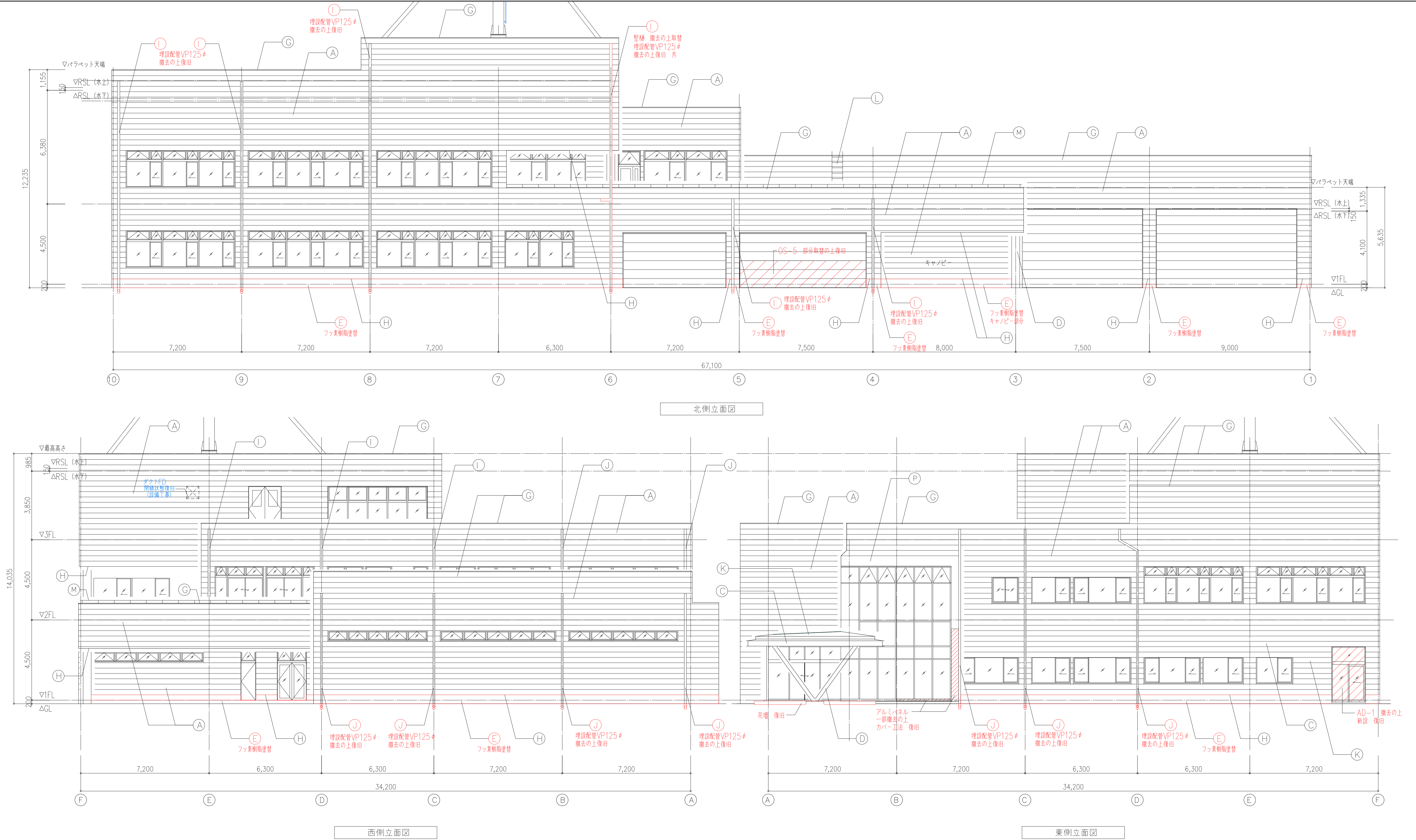
3階平面図

特記事項					確認日			雙 星 設 計				工事名称 (プロジェクトNo. 240602)	図面名称		
								一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)				奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事 (建築工事)	庁舎 3階・R階平面図		
					確認者			代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	縮尺	年月日	図面番号
													A3 1/200	2025 . 02 .	A113



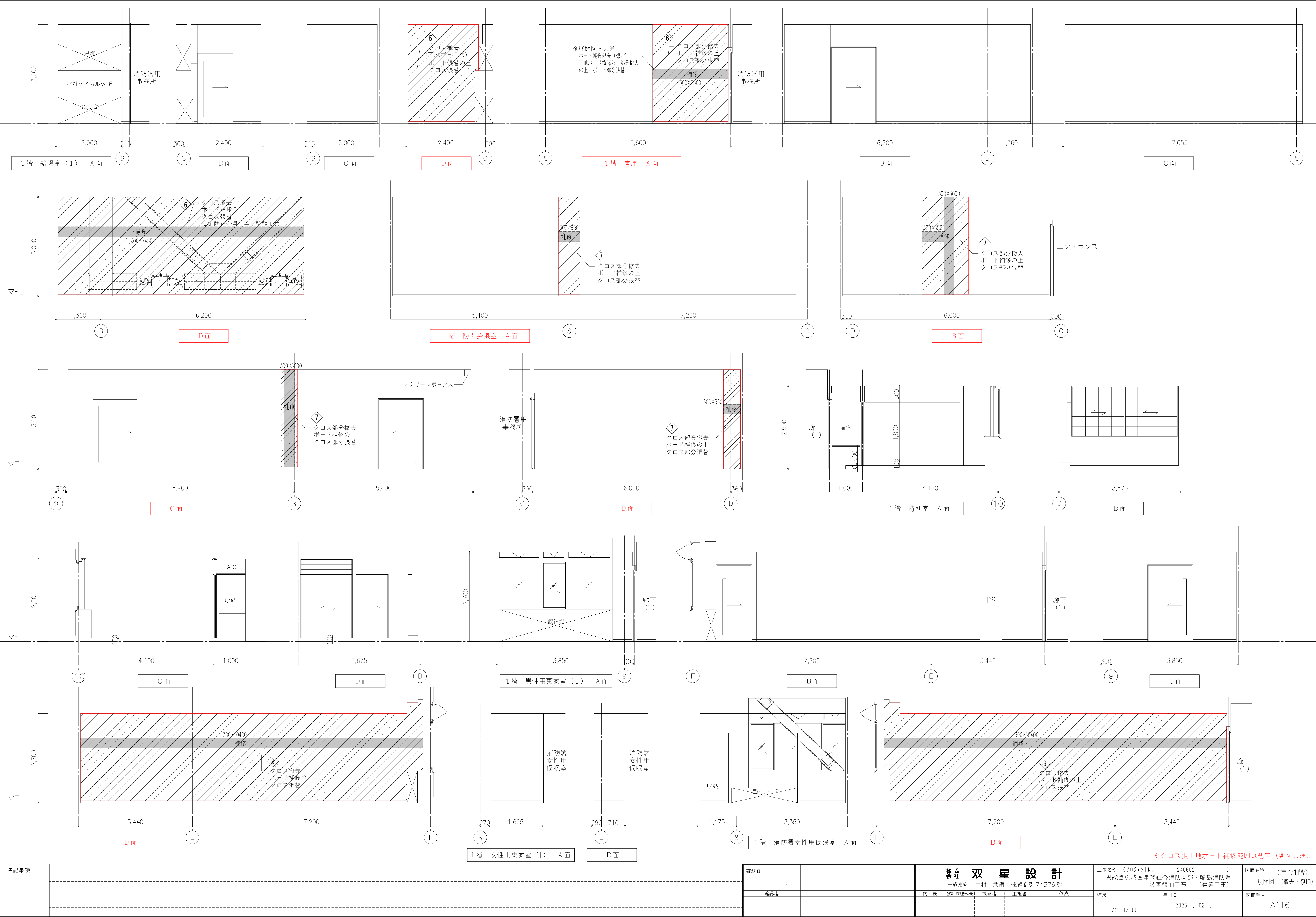


凡 例														
(A)	外壁：フッ素ガルバリウム鋼板t0.4（横葺）	(D)	鉄部：溶融亜鉛メッキ素地	(G)	笠木：アルミ成形品、W450	(J)	雨樋：カラーAL、φ114、バンドレス壁樋	(M)	手すり：スチール製、溶融亜鉛メッキ、H1,350	(P)	外壁：アルミパネルt2.0、フッ素樹脂塗装			
(B)	ルーバー：アルミ既製品（W50×D150@210）	(E)	コンクリート打放しの上、フッ素樹脂塗料塗り	(H)	水切：フッ素ガルバリウム鋼板t0.8曲げ加工	(K)	屋根：フッ素ガルバリウム鋼板t0.4タテ平葺き	(N)	雨樋：カラーAL、φ89、バンドレス壁樋	(Q)	鉄部：点検タラップ、点検台：溶融亜鉛メッキ			
(C)	外壁：ガルバリウム鋼板t2.0、フッ素樹脂塗装	(F)	外壁：押出成形板t60、フッ素樹脂塗装	(I)	雨樋：カラーVP、φ125、SUS梱み金物	(L)	タラップ：ステンレス製	(O)	外壁：アルミパネルt2.0の上、グラスウール貼					
特記事項							確認日			雙 星 設 計				
										一級建築士 中村 武嗣（登録番号174376号）				
							確認者			代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作成
											縮尺		年月日	図面番号
											A3 1/200		2025 . 02 .	A114

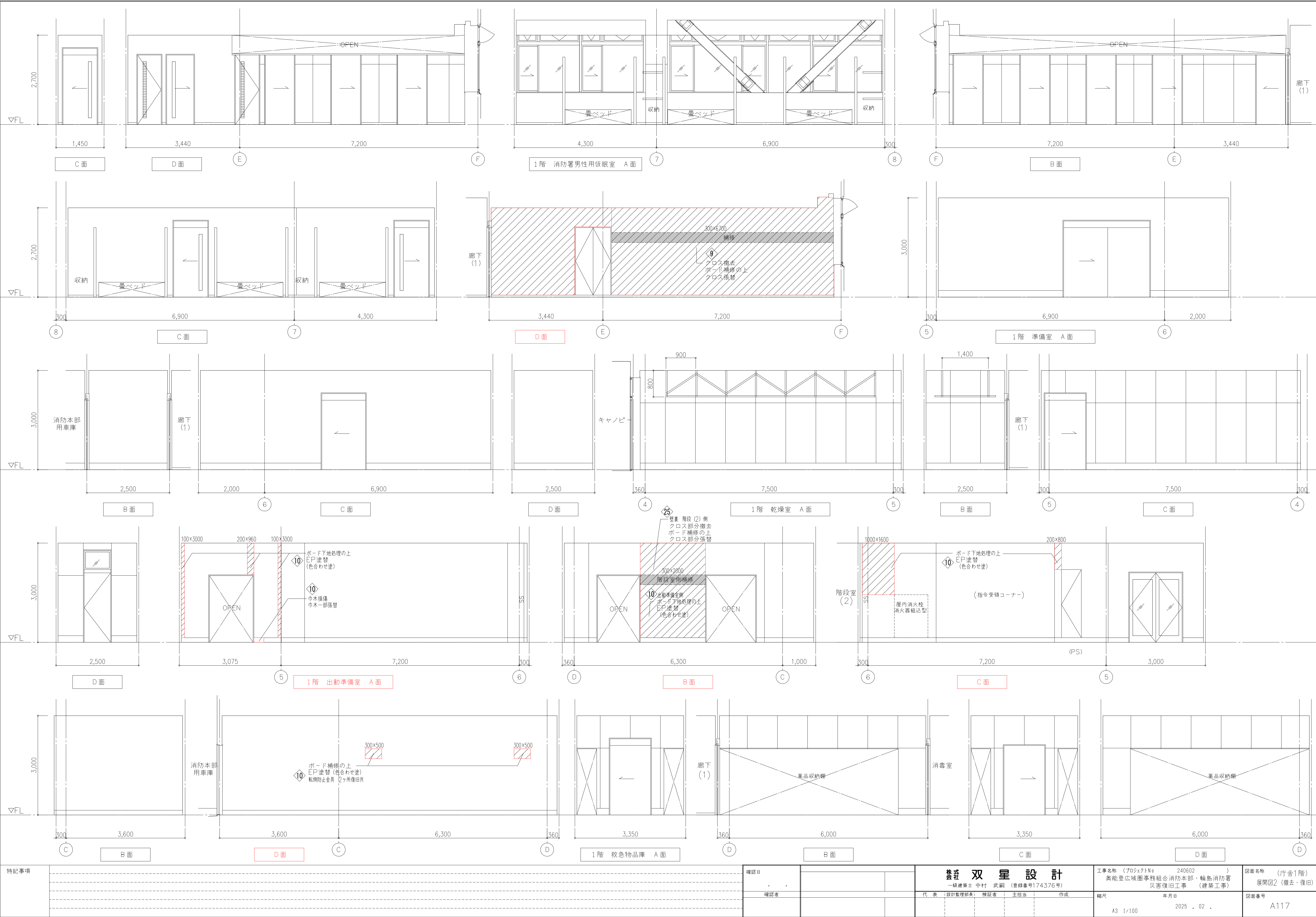


凡 例													
(A)	外壁：フッ素ガルバリウム鋼板t0.4（横葺）	(D)	鉄部：溶融亜鉛メッキ素地	(G)	笠木：アルミ成形品、W450	(J)	雨樋：カラーAL、φ114、バンドレス縦樋	(M)	手すり：スチール製、溶融亜鉛メッキ、H1,350	(P)	外壁：アルミパネルt2.0、フッ素樹脂塗装		
(B)	ルーバー：アルミ既製品（W50×D150@210）	(E)	コンクリート打放しの上、フッ素樹脂塗料塗り	(H)	水切：フッ素ガルバリウム鋼板t0.8曲げ加工	(K)	屋根：フッ素ガルバリウム鋼板t0.4タテ平葺き	(N)	雨樋：カラーAL、φ89、バンドレス縦樋	(Q)	鉄部・点検窓、点検台：溶融亜鉛メッキ		
(C)	外壁：ガルバリウム鋼板t2.0、フッ素樹脂塗装	(F)	外壁：押出成形板t60、フッ素樹脂塗装	(I)	雨樋：カラーVP、φ125、SUS組み金物	(L)	タラップ：ステンレス製	(O)	外壁：アルミパネルt2.0の上、ガラスタイル貼				
特記事項							確認日			雙 星 設 計		工事名称（プロジェクトNo. 240602） 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事（建築工事）	図面名称
							確認者			代 表 一級建築士 中村 武嗣（登録番号174376号）		縮尺	立面図（2）
										設計監理部長 検証者 主担当 作成		年月日	図面番号
												A3 1/200 2025 . 02 .	A115



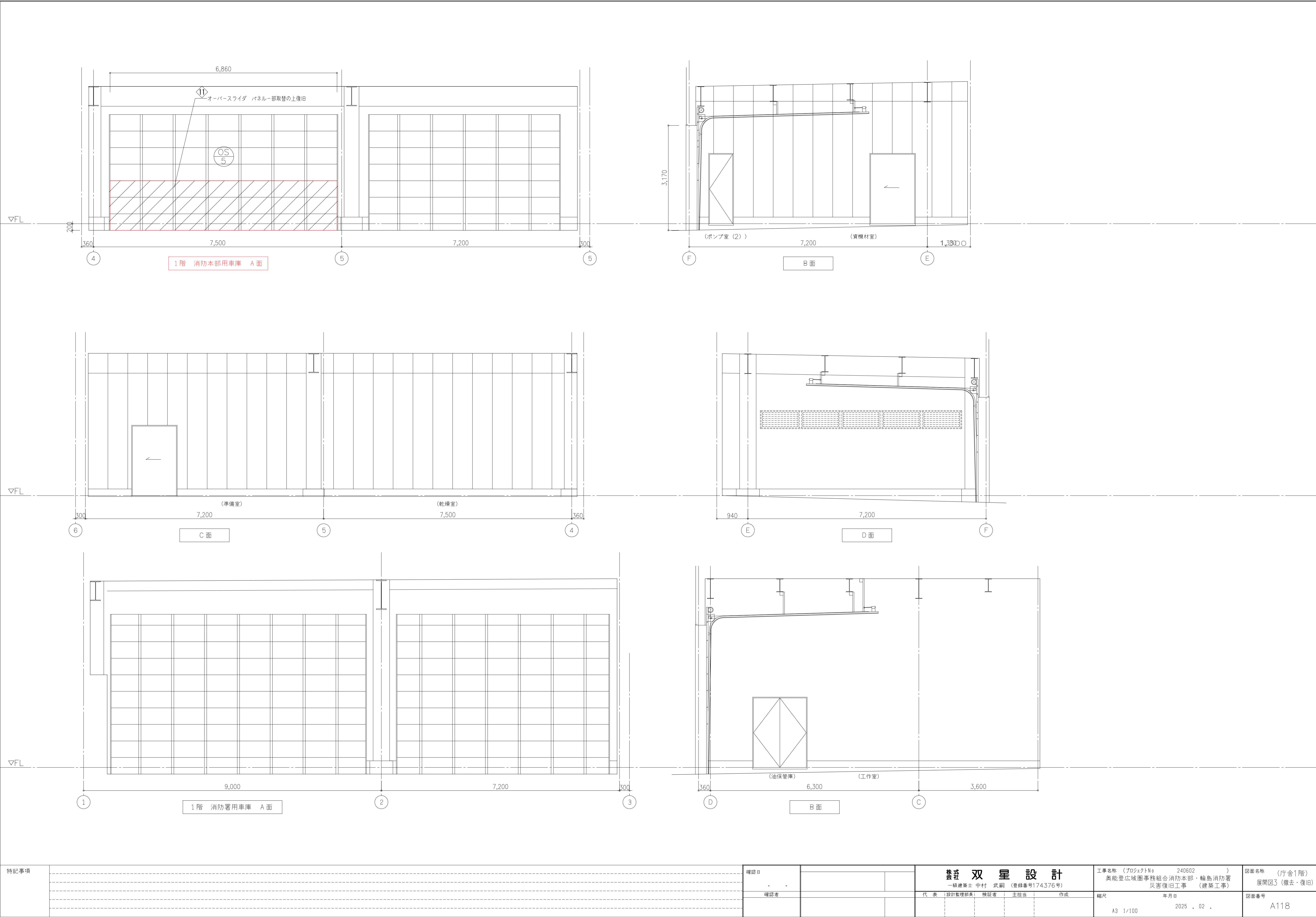


特記事項						確認日			雙 星 設 計 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)					工事名称 (プロジェクトNo. 240602) 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事 (建築工事)			図面名称 (庁舎1階) 展開図1 (撤去・復旧)	
						確認者			代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	縮尺 年月日		図面番号		
													A3 1/100 2025 . 02 .		A116			

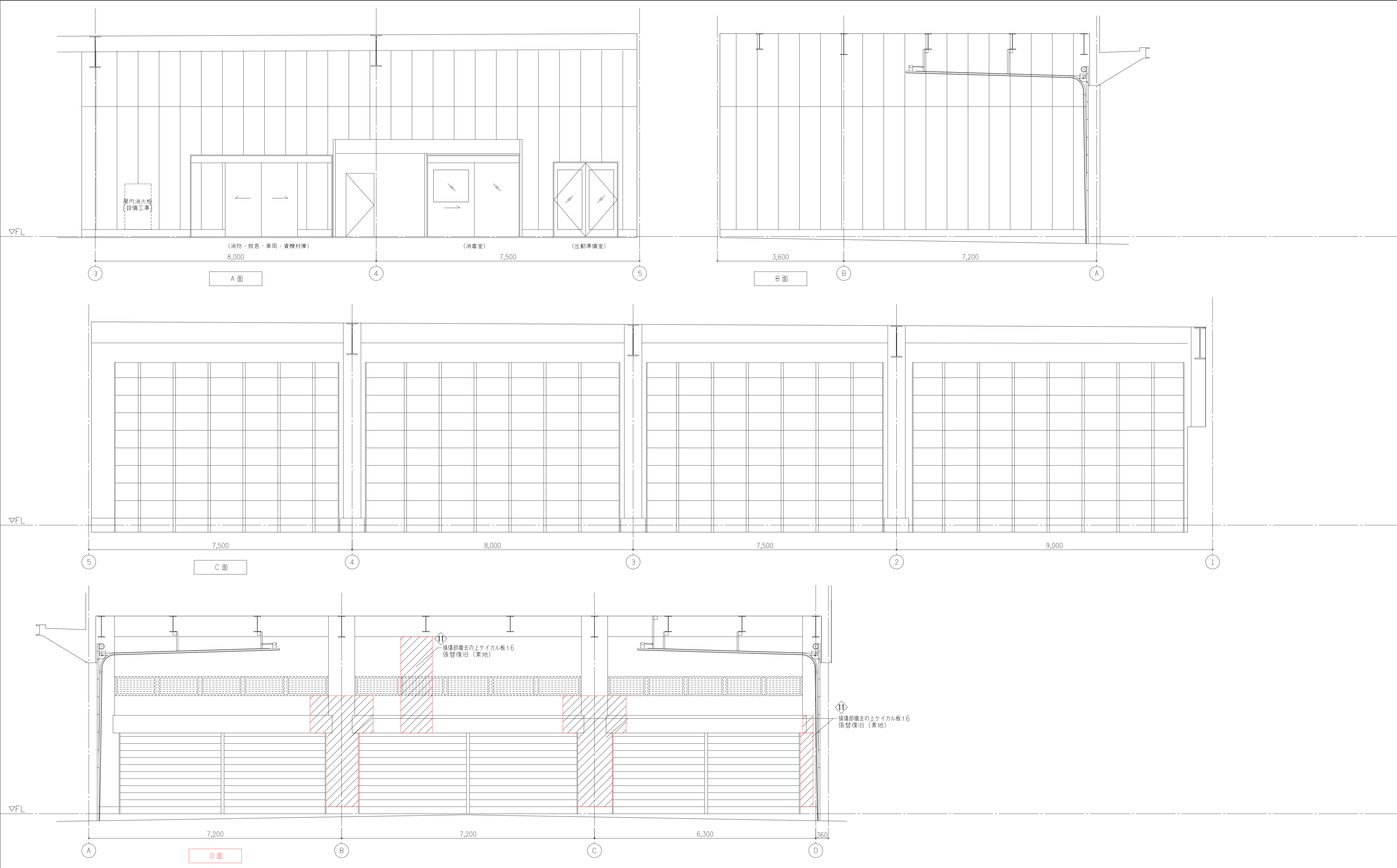


特記事項	確認日				設計 双星設計				工事名称 (プロジェクトNo. 240602)	図面名称 (庁舎1階)
	確認者				一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)				奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署	展開図2 (撤去・復旧)
					代表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	図面番号
									縮尺 年月日 2025 . 02 .	A117



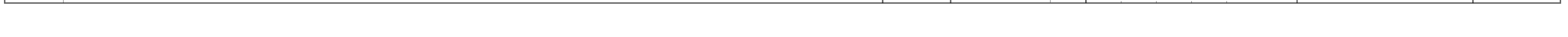


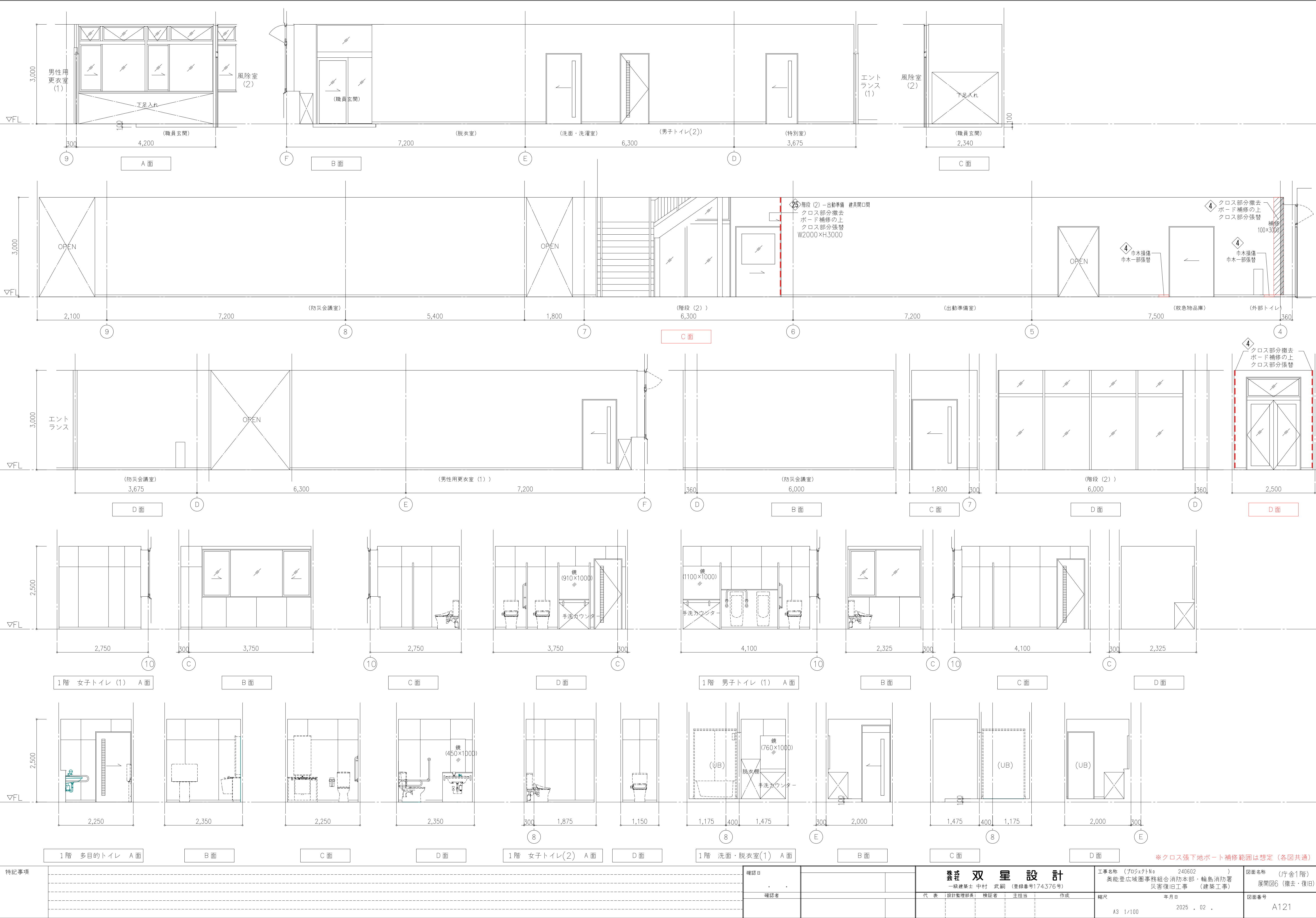
特記事項											確認日			雙 星 設 計				工事名称 (プロジェクトNo. 240602)	図面名称 (庁舎1階)		
											.	.	一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)				奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署	展開図3 (撤去・復旧)			
															災害復旧工事 (建築工事)						
											確認者			代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	縮尺	年月日	図面番号
																			A3 1/100	2025 . 02 .	A118



特記事項	確認日			雙 星 設 計					工事名称 (プロジェクトNo. 240602)		図面名称 (庁舎1階)	
				一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)					奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署		展開図4 (撤去・復旧)	
									災害復旧工事 (建築工事)			
	確認者			代 表 設計監理部長 検証者 主担当 作成					縮尺 年月日		図面番号	
									A3 1/100 2025 . 02 .		A119	

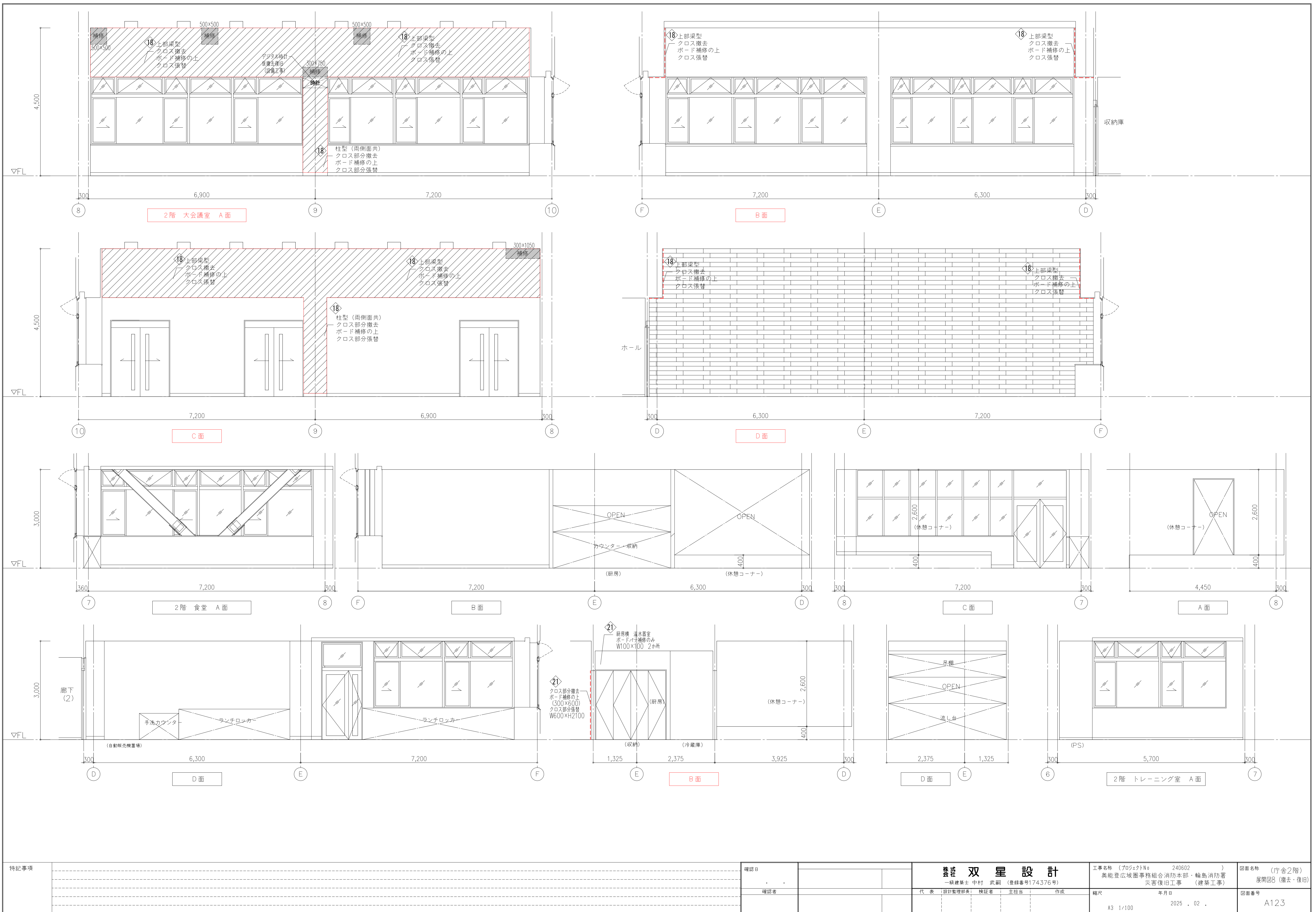




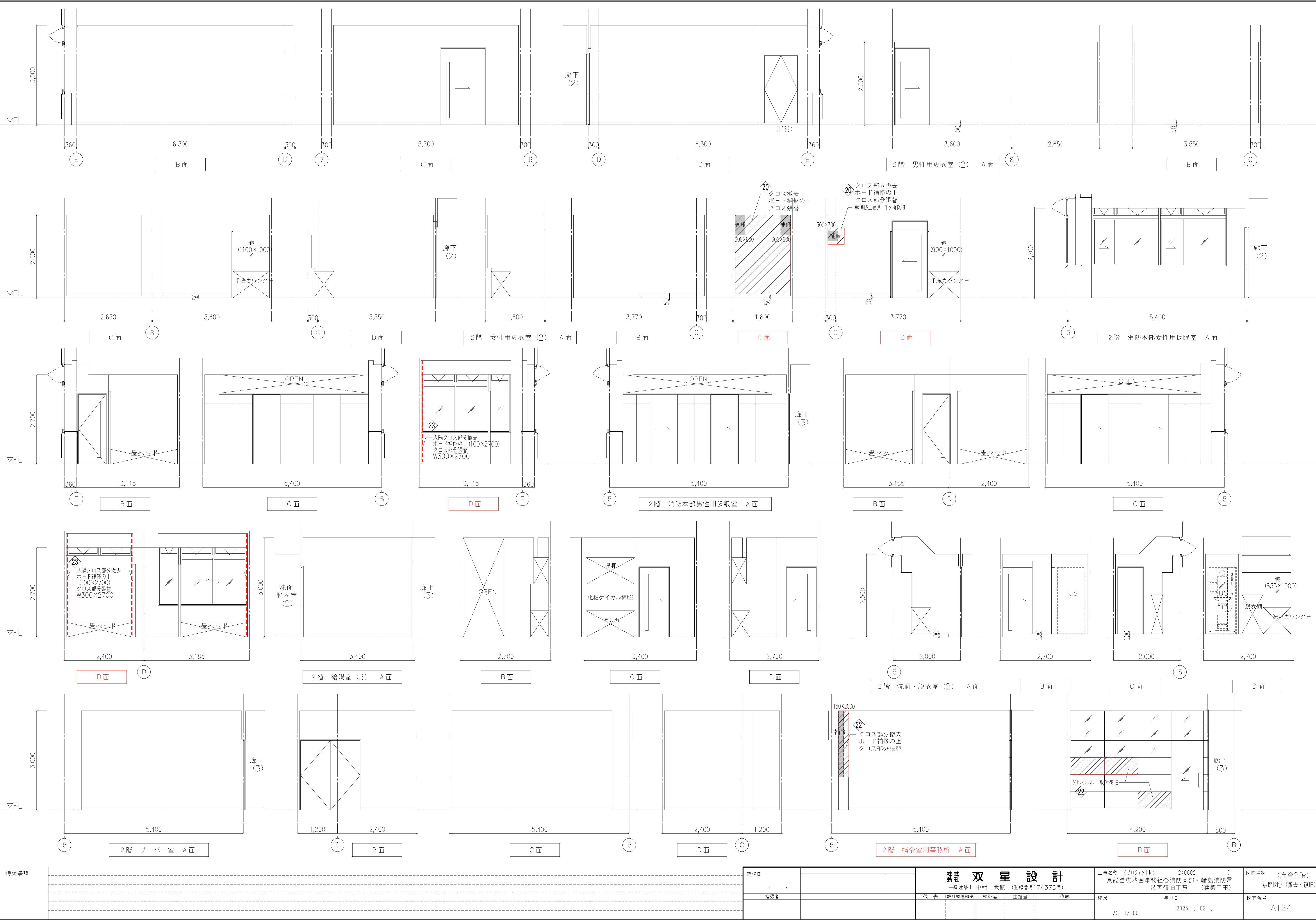








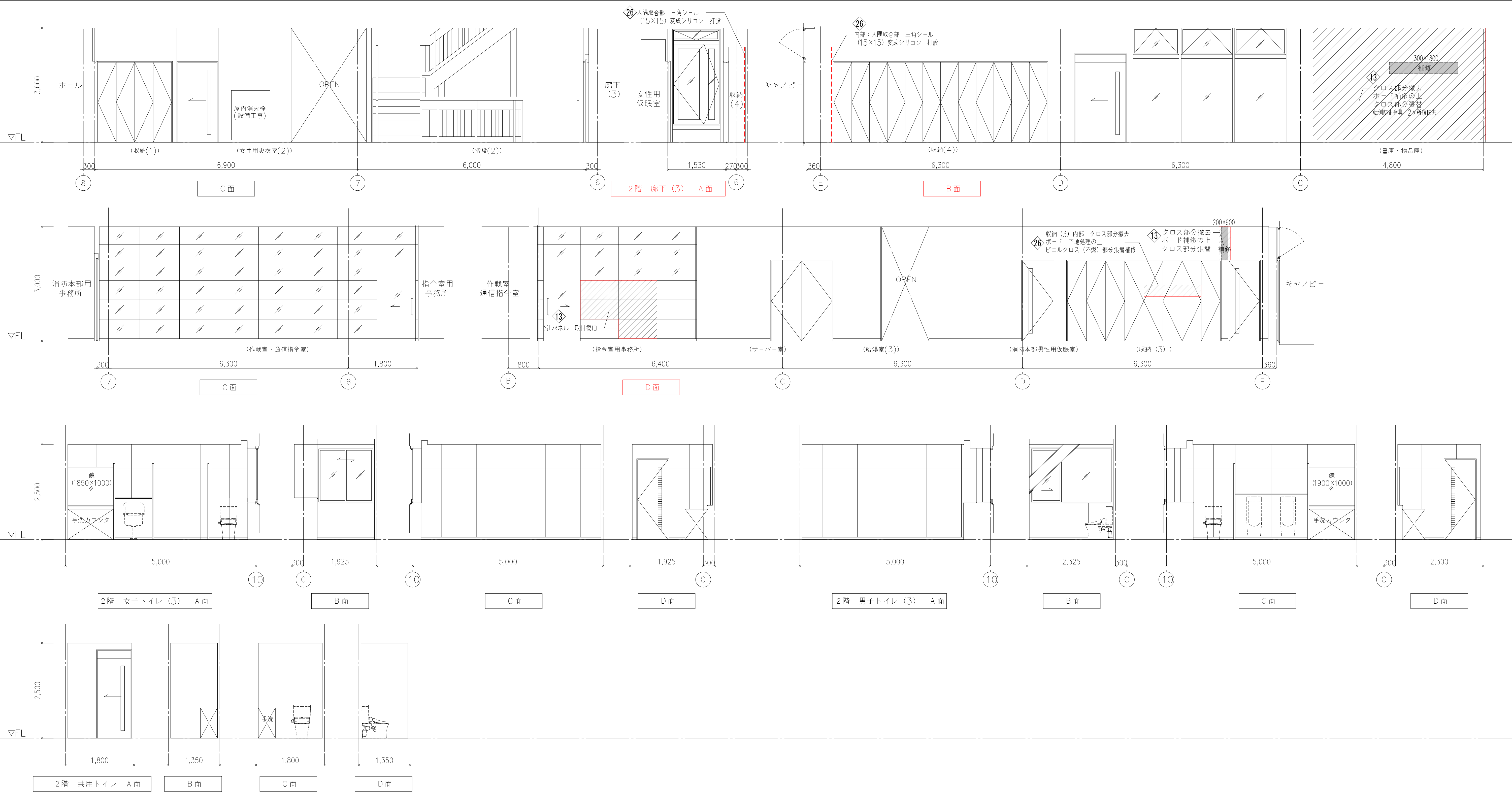




特記事項						確認日				設計 双 星 設 計			工事名称 (プロジェクトNo. 240602 ) 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事 (建築工事)		図面名称 (庁舎2階) 展開図9 (撤去・復旧)										
						確認者				代 表		設計監理部長		検証者		主担当		作成		縮尺		年月日		図面番号	
																				A3 1/100		2025 . 02 .		A124	



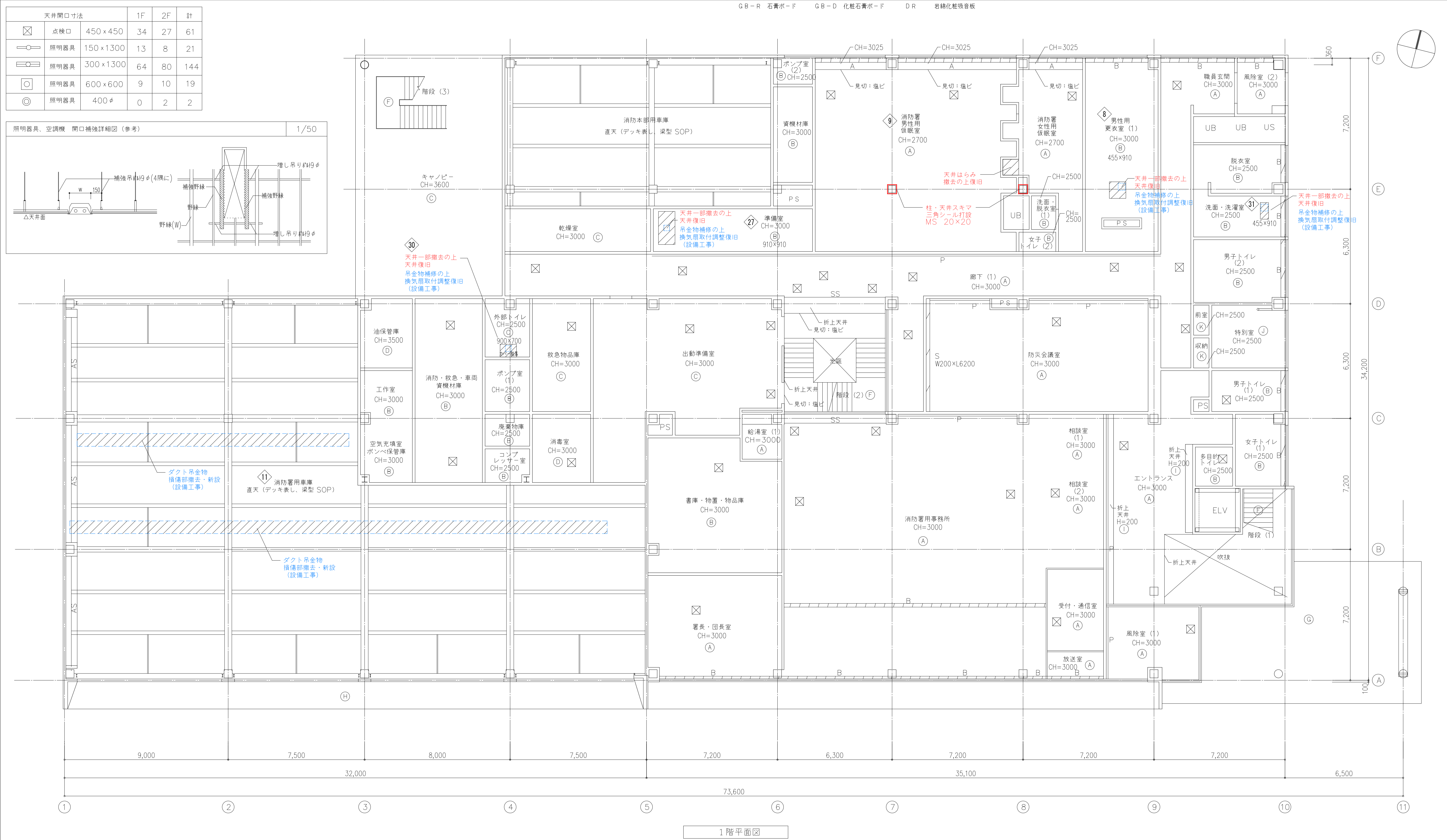




※クロス張下地ボード補修範囲は想定（各図共通）

特記事項		確認日			雙星設計				工事名称（プロジェクトNo. 240602） 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事（建築工事）	図面名称（庁舎2階） 展開図11（撤去・復旧）		
					一級建築士 中村 武嗣（登録番号174376号）							
			確認者		代表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	縮尺	年月日	図面番号
										A3 1/100	2025 . 02 .	A126

特 記	凡 例		天井仕上 ※特記なき限り、PSは直天（デッキ表し）とする			
C H寸法は、各階 F Lからの寸法とする。		カーテンボックス		ピクチャーレール	(A) GB-Rt9.5 + DRt9	(E) GB-Rt9.5+グラスウール吸音材t50、ガラスクロス（ピン止工法）
		ブラインドボックス		天井点検口 特記なき450×450	(B) GB-Dt9.5	(F) 鉄骨表し
		スクリーンボックス (H200)		設備項目を伴う損傷部分	(C) ケイカル板t6 EP	(G) アルミスパンドレル
					(D) GB-Rt12.5 + 化粧ケイカル板t6	(H) アルミバネル



特記事項		確認日		雙星設計 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)	工事名称 (プロジェクトNo. 240602)	図面名称
		確認者			奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事 (建築工事)	天井伏図 (1)
					縮尺 年月日 2025 . 02 .	図面番号 A127



</

記号・数量	AD1自動閉鎖式ハンガー引き戸1	OS5重量オーバーベースライド式ドア1		アルミパネル t2.0（フッ素樹脂塗料塗）	1							
姿 図 【既 存】	※既存サッシ撤去 	※一部パネル 撤去 										
材 料	アルミ	パネル：FRP（透過率80%）＋アルミ 框：アルミ										
枠見込 建具見込	100 42	45										
仕 上	二次電解着色	－										
ガラス	ランマ：SGt6 その他：TGT8	－										
金 物	引手、S、付属金物一式、サムターン	SUSがけレール										
主要使用箇所	1F：風除室（2）	1F：消防本部用車庫		アルミパネル損傷部 一部撤去 カーテンウォール下枠 損傷部 撤去								
備 考	ノンレールタイプ	鍵 仮撤去存置										
記号・数量	AD1自動閉鎖式ハンガー引き戸1	OS5重量オーバーベースライド式ドア1		アルミパネル t2.0（フッ素樹脂塗料塗）	1							
姿 図 【復 旧】	※サッシ 新設復旧 	※一部パネル 取替復旧 										
材 料	アルミ	パネル：FRP（透過率80%）＋アルミ 框：アルミ										
枠見込 建具見込	100 42	45										
仕 上	二次電解着色	－										
ガラス	ランマ：SGt6 その他：TGT8	－										
金 物	引手、S、付属金物一式、サムターン	SUSがけレール		アルミパネル 一部 カバー工法にて復旧（メーカー仕様による） 新設アルミパネル廻り 目地シール（変成シリコン）共 カーテンウォール下枠 損傷部 パテ処理及び取替 復旧								
主要使用箇所	1F：風除室（2）	1F：消防本部用車庫										
備 考	ノンレールタイプ	鍵 再利用										
記号・数量												
姿 図												
材 料												
枠見込 建具見込												
仕 上												
ガラス												
金 物												
主要使用箇所												
備 考												
建具関連共通事項（下記事項は共通とする。ただし、これと異なる表示のある場合を除く）												
<div><div><div><div>＜ドア・シャッター＞ SD……………鋼製ドア LSD……………軽量鋼製ドア AD……………アルミドア SS……………鋼製シャッター SSD……………ステンレス製ドア SF……………鋼製三方（一・二・四方）枠  ＜窓＞ AW……………アルミ窓  ＜ガラリ＞ AG……………アルミガラリ  ＜塗装＞ OP……………油性ペイント VP……………ビニル系ペイント CL……………クリアラッカー OS……………油性ステイン EP……………合成樹脂系エマルジョンペイント MP……………マリンペイント SOP……………合成樹脂調合ペイント OSCL……………オイルステインクリアラッカー</div><div>＜ガラス＞ SG……………透明ガラス FG……………型板ガラス PWG……………みがき網入ガラス FWG……………網入型板ガラス HG……………熱線吸収ガラス BPG……………ブロンズベーンガラス BPGW……………ブロンズベーン網入ガラス TG……………強化ガラス  ＜その他＞ DC……………ドアチェック F……………フラスネジ PH……………ピボットヒンジ FH……………フロアヒンジ AS……………アームストッパー SH……………シリンドー箱錠 S……………シリンドー本錠錠 AH……………オートヒンジ CH……………ケースハンドル CR……………クレセント TA……………戸当り T……………SUS丁番 SK……………SUS巻摺</div><div>■枠形式（d……枠見込）※図示による </div><div>■扉召し合わせ </div><div>■鋼製建具・額縁ボード納まり（特記外木製建具共） </div><div>■鋼製建具等の性能 鋼製建具等の防錆塗料はJIS K5629を用いる ただし亜鉛メッキ面はJIS K5627とする  ■建具金物 材質・仕上げ・機構は係員に見本品を提出し確認を受けること</div><div>■鋼製建具等の性能 1. 強さ 耐風圧 区分 S-1 S-2 S-3 S-4 S-5 S-6 S-7 2. 気密性 区分 A-1 A-2 A-3 A-4 3. 水密性 区分 W-1 W-2 W-3 W-4 W-5 4. 遮音等級 区分 T-1 T-2 T-3 T-4 5. 防火 特：特定防火設備 防：防火設備</div><div>註 1. 出入口 巻摺は、ステンレス 2mm 曲げ加工とする。 2. 網入りガラスの取付はパテ（JIS A5752の2種金属用建具用ガラスパテ）又は、認定製品を使用する。 3. ドア・チェックは、ストップ付きとする。（防火戸は除く） 4. 引違い窓のクレセントは、鍵付きとする。 5. 網入ガラスの小口は、防錆処理を行うこと。 6. はめ殺しサッシについて、水抜き穴を設ける。 7. オペレーター（隠蔽型）及び排煙用サッシのクレセントハンドル取付位置 FL+800～1500とする。 8. 扉枠・窓額縁は、特記なき限りスチール製（アクリル焼付塗装）を取り付ける。室内側に有るサッシは両面額縁とする。 9. アルミの表面処理は、特記なきかぎり被膜は14Lまたは9KLとする 10. アルミサッシの合成樹脂被膜は屋外では原則用いない 11. 塗装は特記なきかぎり下塗り1回2ペーク2コートとし、1回の塗膜厚は15～20μmとする。  ■特記 1. 鋼製軽量ドア（LSD）は窓、ガラリ廻りの枠無しタイプ同等品とする。 2. 外部サッシは全て網戸付きとする。 ・引違い、片引き窓は可動式網戸 ・高窓、ランマ窓はケンドン式網戸 ・開き窓、すべり出し窓はアリーツ式網戸</div></div></div></div>												
特記事項				確認日		禁 双 星 設 計 一級建築士 中村 武嗣（登録番号174376号）		工事名称（プロジェクトNo. 240602） 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事（建築工事）	図面名称（撤去・復旧） 建 具 表			
				確認者		代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	縮尺 A3 1/200	図面番号 A129

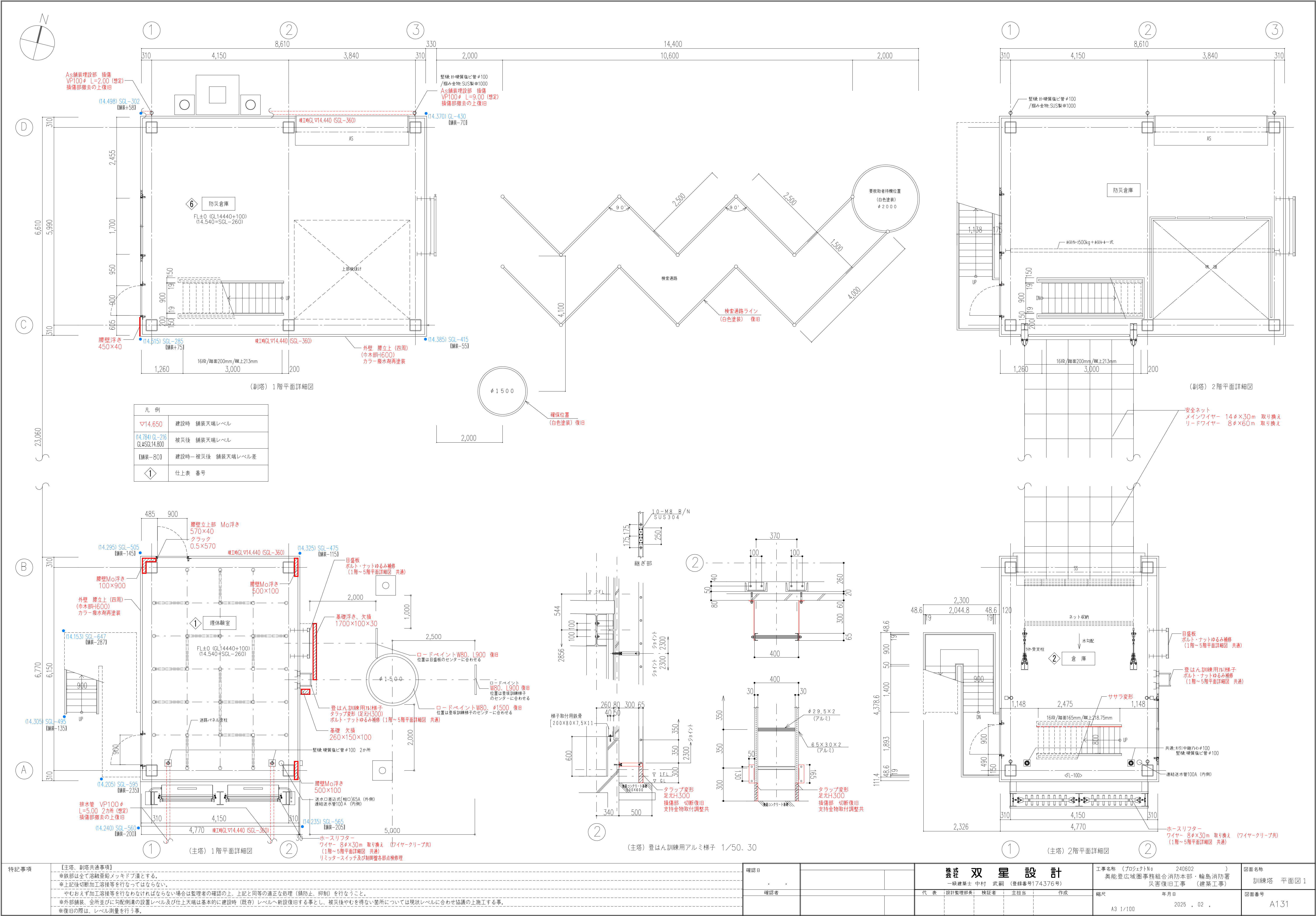


◆ 外 部 仕 上 表									
【主塔】		【副塔】		【訓練器具】		【主 塔】			
屋 上	デシコンクリート150＋フカコンクリート50 金鍍押さえ＋ウレタン塗膜防水3mm  手摺：H1150 ※詳細図参照	屋 根	フッ素樹脂被覆鋼板 t0.8折板葺き 山高H＝195 形式：かんごう式／有効巾：500mm （元旦ビル工業 ビーフィールド200同等品） 雪止金物：L＝50×50×5 溶融亜鉛メッキドブ付 L＝11.5m×2列 大型折板用雨樋 平150浅型 吊金物：SUS製φ450 カラー硬質塩ビ管φ100 掴み金物：SUS製φ1000 押出成型ワット板t60・平・縦張り（コーナー役物）＋フッ素樹脂エナメル塗装 コンクリート打放仕上（塗装合板型枠）＋カラー撥水剤吹付（カラー撥水剤 再塗装） 7mm製軽量手動バラスシャッター、アルミカラーサッシ（型板が4.0/アルミが4.0）	ホースリフター：16本×2＝32本用 / コンクリート基礎（W1350×D5000）共 目盛板：フレキシブルボードt16下地（ボルト締）アクリルシリコン樹脂塗装  登はん訓練用梯子：アルミ製 アルミ合金製 W400×H16775 ランク太さ：29.5φ×t2.0 支持金物：SS400ユニクロメッキ @2300 足元H300程度 変形 アルミ梯子 損傷部切断、補修の上復旧 最下段 支持金物 取付調整共	階 段	ささら：PL-19 段板：グレーがt32 手摺・支柱：SGPφ48.6/中棧：SGPφ34.0 ささらPL 2階・3階・4階 変形 ：ササラPLのみ 取替 復旧 路面：仮撤去・復旧 手摺・支柱（ボルト留） 3階 変形 ：手摺のみ 取替 復旧			
外 壁 巾 木 開口部	押出成型ワット板t60・平・縦張り（コーナー役物）＋フッ素樹脂エナメル塗装 コンクリート打放仕上（塗装合板型枠）＋カラー撥水剤吹付（カラー撥水剤 再塗装） 鋼製重量手動シャッター、アルミカラーサッシ（型板が4.0/アルミが4.0）	軒 樋 縦 樋 外 壁 巾 木 開口部							
手 摺 階 段 鉄 部	手摺・支柱（@900内外） SGPφ48.6 中棧：SGPφ34.0 フェン：SUS製（板付） ささら：PL-19 段板：グレーがt32 手摺・支柱：SGPφ48.6/中棧：SGPφ34.0 全て溶融亜鉛メッキドブ付け ※現場加工不可	手 摺 階 段 鉄 部	手摺・支柱（@900内外） SGPφ48.6 中棧：SGPφ34.0 フェン：SUS製（板付） ささら：PL-19 段板：グレーがt32 手摺・支柱：SGPφ48.6/中棧：SGPφ34.0 全て溶融亜鉛メッキドブ付け ※現場加工不可	ロープブリッジ：手動式 引揚用救助訓練降下板：フレキシブルボードt16（ボルト締）下地アクリルシリコン樹脂塗装 各種金物					

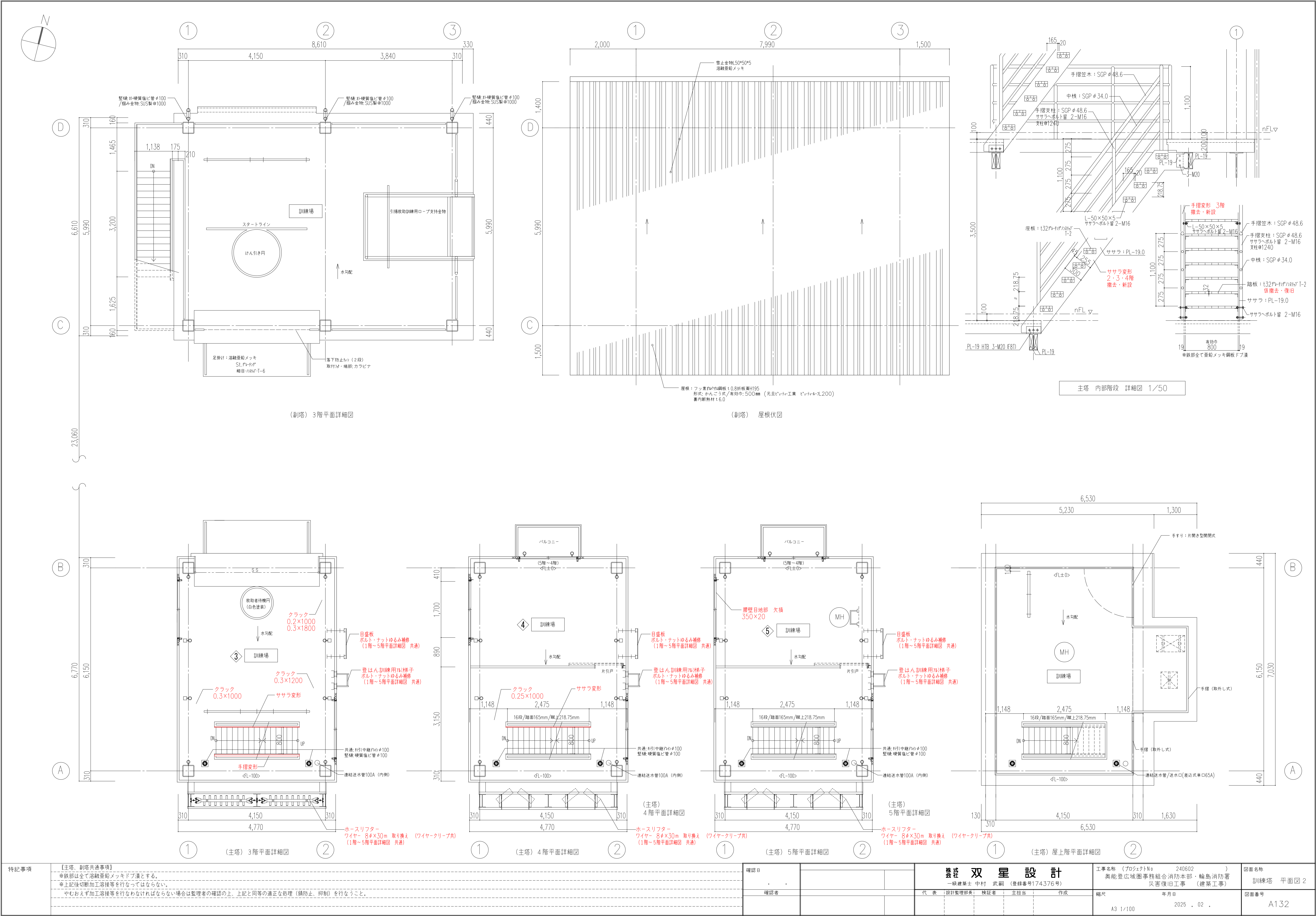
※各階柱 防火被覆：t0.5 発泡性アクリル樹脂塗料（耐火塗料）（認定番号CC-0001）

特記事項		確認日		雙 星 設 計					工事名称（プロジェクトNo. 240602） 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事（建築工事）	図面名称（訓練棟） 撤去・復旧 仕上表	
		確認者		代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	縮尺	年月日	図面番号
									A3 1/100	2025 . 02 .	A130









工事仕様書（電気設備）

I. 工事概要

1. 工事名称

奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事

2. 工事場所

輪島市 杉平町

3. 完成期日

令和 7 年 ※※月 ※※日（余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。）  
指定部分 ・ 無 ・ 有（指定期日：令和 年 月 日） 対象部分（ ）  
概成工期 ・ 無 ・ 有（令和 年 月 日）

4. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防令別表第一	備考
消防署 庁舎	鉄骨造	地上3階建、無縁塔	3,240.50	16項（ロ）	
訓練棟（主塔）	鉄骨造	地上5階建	161.45		
訓練棟（副塔）	鉄骨造	地上3階建	160.23		

5. 別契約の関連工事

○建築工事

・電気設備工事

○給排水衛生設備工事

○空調調設備工事

・構内交換設備工事

・昇降機設備工事

・自家発電設備工事

・厨房機器設備工事

・屋外付帯工事

・植栽工事

6. 工事内容

庁舎 鉄骨造3階建、無縁鉄塔	被災損傷部の復旧
訓練塔（主塔）鉄骨造5階建	被災損傷部の復旧
訓練塔（副塔）鉄骨造3階建	被災損傷部の復旧

II. 工事仕様

1. 一般仕様

1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。

2. 特記仕様

章は●印のものを、特記事項で選択する項目は○印に○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章

項目

特記事項

●

1 工事実績情報

請負金額5, 0 0 0千円以上の工事は工事实績情報登録を行う。

(11.4)

一般

2 施工体制台帳の作成等

下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。

(11.5(3))

3 他工事との取り合い

スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表－1 によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合せる。

(11.7)

4 工事の記録等

工事総合進捗表、工事日誌、工事出面報告書、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月1 5日及び月末ごとに提出する。

(12.4)

5 施工条件

・新築工事  
○改修工事  
○執務並行改修  
・全館無人改修

(1.3.3)

(改1.3)

6 発生材の処理等

・引渡しを要するもの（ ）  
・特別管理産業廃棄物（ ・ P C B使用機器 ・ 廃石綿 ）  
・現場で再利用を図るもの（ ・ ）  
・再資源化を図るもの（ ・ 蛍光ランプ ・ コンクリート ・ アスファルト ・ 木材 ）

(1.3.9(2))

7 再使用機材

・取外し後再使用するものは図示による。

(改14.3)

章

項目

特記事項

8 事前調査

P C B含有分析調査を ・ 行う（図示 箇所）  
○行わない  
石綿含有分析調査を ・ 行う（図示 箇所）  
○行わない

(改15.2)

●

9 養生

1) 既存部分の養生範囲は、図示による。  
2) 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。

(改17.1)

(改17.2)

10 撤去等

1) 回収を要する機器及び配管の内容物 ・ 燃料 ・  
2) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。

(改18.1)

(改18.6)

11 環境への配慮

1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。  
・ 照明制御システム ・ 変圧器 ・ 下塗用塗料（重防食）  
2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。  
① JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品  
② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品  
③ 下記表示のあるJAS規格品  
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用  
b. 接着剤等不使用  
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用  
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用  
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用  
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

(1.4.1(1))

(1.4.1(2))

一般

12 機材の品質等

1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。  
ただし、仮設に使用する機材は、新品に限らない。  
2) 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新年版）」（（一社）公共建築協会）等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。  
①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。  
②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。  
③安定的な供給が可能であること。  
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。  
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。  
⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。

(1.4.2(1))

共通

13 工事の創意工夫等

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

(1.5.6)

14 化学物質の濃度測定

建築物の室内空気中の濃度測定を ・ 行う  
○行わない  
測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。

(1.5.7)

15 中間検査

中間検査の実施 ○ 無 ・ 有（時期 ・ 天井地下完了時 ・ ）

(1.6.2)

16 完成図

原図及び製本（等倍 1 部、A 3縮小 2 部）提出する。

(1.7.2)

17 保全に関する資料

保全に関する資料は次のとおり、 2 部提出する。  
①建築物等の利用に関する説明書※  
②機器取扱説明書（主要機器一覧表とも）  
③機器性能試験成績書（総合試運転報告書とも）  
④官公署届出書類  
※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き  
手引きのダウンロード [http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun\\_kentikubuturiyou\\_tebikih.htm](http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_kentikubuturiyou_tebikih.htm)

(1.7.3)

18 足場類

内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。

(改22.2)

19 仮設間仕切・扉

設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。

(改22.3)

20 仮設備

仮設備を ・ 設ける（図示による）  
○設けない

(改214.1)

21 工事用電力等

・ 既存施設に電力量計等を設けて使用できる（有償） ・ 発電機又は北陸電力引込み等

(改22.4)

22 監督員事務所等

1) 監督員事務所を ※ 設けない ・ 設ける[ ・ 1号（10㎡程度） ・ 2号（20㎡程度） ]  
2) 監督員事務所に設ける備品等  
・保護帽 ・ 墜落制止用器具 ・ 長靴 ・ 合羽 ・ 机 ・ 椅子  
・ 懐中電灯 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 寒暖計 ・  
3) 設計図を工事監理用に製本（等倍 1 部、A 3縮小 2 部）し、監督員事務所等に置く。

(改21.1(4))

章

項目

特記事項

23 快適トイレ（快適トイレ実施要領に基づく）

・ 設置する ○設置しない（別途工事で設置等）  
※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる  
快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。

●

24 工事現場の表示板

工事現場には、下記表示板を設置する。（記入例）  
上段の地色は白色  
文字は青色  
下段の地色は青色  
文字は白色  

工事名

工期 自 年 月 日～至 年 月 日

発注者 石川県土木部営繕課

設計（建築・設備委託業者名を記入）

監理（建築・設備委託業者名を記入）

施工 建築（施工業者名を記入）

電気（施工業者名を記入）

機械（施工業者名を記入）

この工事は、週休2日に取り組んでいます

60cm～75cm  
90cm

(2.1.1(4))

25 埋め戻し土

※ 根切り土の中の良質土（ただし、管の周囲は山砂） ・ 山砂

(2.2.1)

一般

26 建設発生土の処理

・ 現場内で処理  
・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷き均し  
・ 場外搬出適正処理（「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。）  
※ 指定（想定）搬出先 受入場所： 受入時間帯： 時 分～ 時 分  
仮置き等：

27 塗装

次の金属露出配管（亜鉛めっき面を含む）は、塗装を行う。  
・ 屋外 ・ 屋内（ ・ 居室 ・ 機械室 ・ ）

(2.7.1)

28 はつり

1) 放射線透過検査を ・ 行う ※ 行わない（但し、鉄筋探査は行う。）  
2) 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。  
3) 溝はつり深さは、図示による。  
4) 防水箇所の貫通処理方法は図示による。

(改2.11.2)

(改2.11.3)

(改2.11.4)

(改2.11.5)

29 あと施工アンカー

1) 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。  
2) 施工後確認試験（引張試験）を ・ 行う（ 箇所）  
○ 行わない

(改2.12.3)

30 県内産材料

石川県建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第6条の2第7項により、調達する工事材料は石川県産とするように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。

31 材料検査

請負契約約款第1 3条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。  
・ 受変電機器 ・ 自家発電装置 ・ 照明器具類 ・ 配電盤類 ・ 避雷針  
・ 通信機器 ・ 構内交換機器 ・ 接地材料 ・

32 工事写真等の記録

1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和3年改定）」による。  
2) 請負契約約款第1 4条第3項に定める工事写真は次のとおり。  
・ 地中埋設配管部 ・ 機器の基礎及びアンカーボルト埋設部 ・ 塗装工程  
・ 接地極埋設部 ・ 天井、トレンチ内の隠ぺい箇所 ・ 躯体内隠ぺい部  
3) 区分による規格、枚数、部数は次による。  

区分	大きさ(mm)	撮影枚数	部数	備考
着工前	100×148程度	監督員の指示による	1 部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、
工事中	85×115程度	監督員の指示による	1 部	工事完成時に提出する。
完成時	100×148程度	監督員の指示による	1 部	A 4用紙に整理したもの

  
4) 完成写真の撮影は、次による。 ・ 建築写真撮影業者 ※ 建築写真撮影業者以外  
5) 写真は A 4 版用紙に順序よく貼付又は印刷し、説明事項を記入して提出する。  
6) 中間検査又は監督員の指示により、手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添付し提出する。  
請負契約約款第3 7条第1項に定める部分払の対象とする工事材料は次のとおり。  
・ 機器 ・ 盤 ・ 配管、配線 ・

(改2.12.3)

33 部分払いの対象工事材料

34 火災保険等

請負契約約款第4 9条に定める火災保険等は次のとおり。（加入期間は着工日より引渡日まで）  
※ 組立保険 ・ 建設工事保険

最終改訂 R 5. 4. 1

特記事項

確認日

・ ・

確認者

代表

設計監理部長

検証者

主担当

作成

工事名称（プロジェクトNo. 240602）  
奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署  
災害復旧工事（電気設備工事）

縮尺 年月日  
A3 1/200 2024 ・ ・

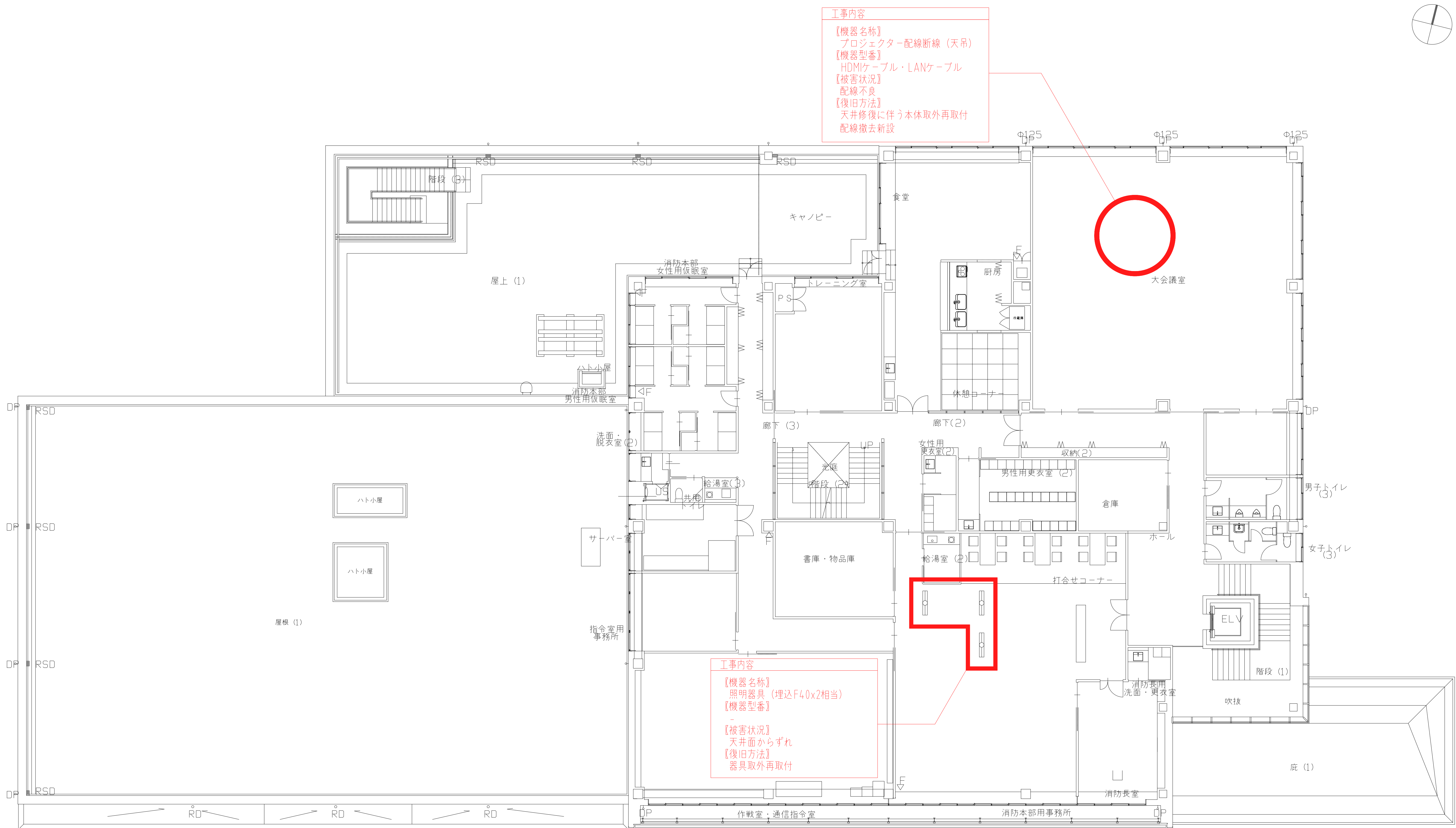
図面名称  
電気設備工事仕様書（1）

図面番号  
E301



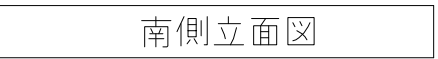


○  
---



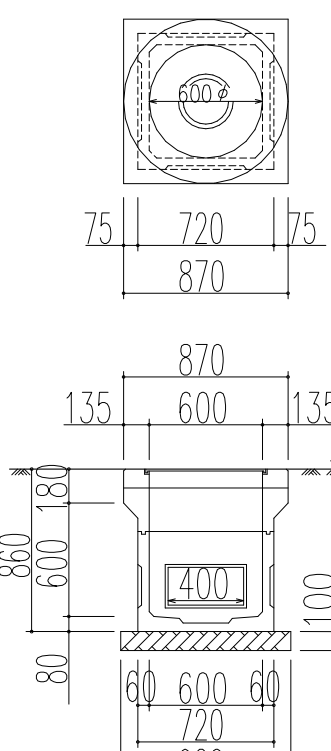
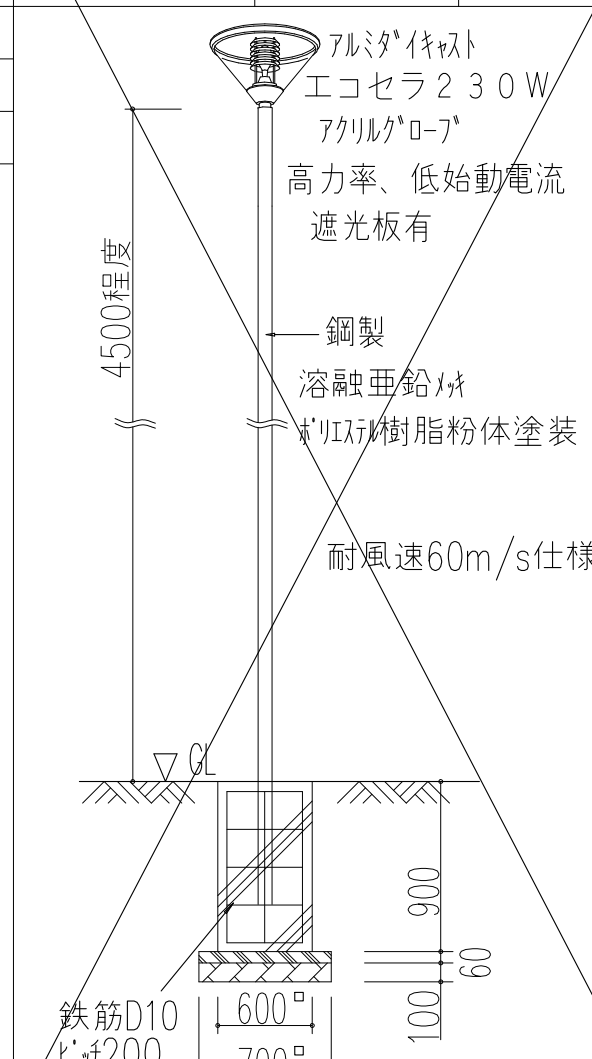



特記事項				確認日		雙星設計					工事名称（プロジェクトNo. 240602） 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事（電気設備工事）		図面名称 電気設備 2階平面図（電灯他）	
				一級建築士 中村 武嗣（登録番号174376号）										
				確認者		代 表		設計監理部長	検証者	主担当	作成	縮尺 年月日		
												A3 1/200      2025 . 02 .		
												E304		





待記事項		確認日 ・ ・			<div><div><div>双星設計</div><div>一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)</div></div></div>				工事名称 (プロジェクトNo. 240602) 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事 (電気設備工事)	図面名称 電気設備 立面図(電灯他)				
			確認者		代 表	設計監理部長	検証者	主担当			作成	縮尺	年月日	図面番号
												A3 1/200	2025. 02.	E305

<p>ハンドポール仕様</p> <table border="1"> <tr> <td>  </td> <td>H1</td> <td>600×600×600</td> </tr> <tr> <td>(A)</td> <td>MHA600 φ</td> <td>電気7ヶ入</td> </tr> <tr> <td>(B)</td> <td>MHB600 φ</td> <td>電気7ヶ入</td> </tr> <tr> <td>(D)</td> <td>MHD600 φ</td> <td>電気7ヶ入</td> </tr> </table>		H1	600×600×600	(A)	MHA600 φ	電気7ヶ入	(B)	MHB600 φ	電気7ヶ入	(D)	MHD600 φ	電気7ヶ入	<p>  </p>	<p>  </p>
	H1	600×600×600												
(A)	MHA600 φ	電気7ヶ入												
(B)	MHB600 φ	電気7ヶ入												
(D)	MHD600 φ	電気7ヶ入												

Technical drawing of a vertical column assembly, likely a lamp or sensor pole. The drawing includes the following labels and dimensions:

- PAS**: Label pointing to the top assembly.
- 3φ 3W 6.600V 60Hz**: Electrical specification for the top assembly.
- VCT**: Label pointing to a component on the upper section.
- CH**: Label pointing to a component on the upper section.
- CP-12-5.0kN**: Label pointing to a component on the middle section.
- 6kV CET38 (GLT70)**: Label pointing to a component on the middle section.
- CEE 2-9C (VE28)**: Label pointing to a component on the middle section.
- WM#3/4 (DGR)**: Label pointing to a component on the middle section.
- 1,800**: Dimension indicating the height of the main column section.
- ▽GL**: Label pointing to a component on the lower section.
- コクリト根かせ**: Label pointing to a component on the lower section.
- ハンパホル**: Label pointing to a component on the lower section.
- 14**: Dimension indicating the distance from the base to the lower section.
- ELA**: Label pointing to the base of the column.
- E4,D**: Label pointing to the base of the column.

土工事断面図

I

埋設

▽GL

300以上

山砂

500

電線管

200

200

400

II

埋設

▽GL

450

650

山砂

800

電線管

200

200

400

III

▽GL

舗装 (別工事)

▽路盤下面

埋設

300以上

山砂

500

電線管

200

200

400

IV

▽GL

舗装 (別工事)

▽路盤下面

埋設

300以上

山砂

800

電線管

200

200

400



CPEE1.2-2P	(FEP30)	電話
CPEE1.2-1P	(FEP30)	放送

CET 8 E5.5	(FEP30)	1 φ AC
CET 8 E5.5	(FEP30)	3 φ AC
CPEE1.2-1P	(FEP30)	放送
CE3.5/3C	(FEP30)	外灯

電灯動力盤  
LM-1

外灯

業務用電力
電話
情報
C A T V

引込電柱

CE3.5/3C (FEP30) 外灯

---C--- (FEP40) x2 電話

6KV CET38	(FEP80)	高圧
CE2-2C	(FEP30)	DGR
CEES2-4C	(FEP30)	D M
---C---	(FEP50) x2	電話
---C---	(FEP30) x6	情報
S-7C-FB	(FEP30)	CATV

---C---	(FEP50) x2	電話
---C---	(FEP30) x6	情報
S-7C-FB	(FEP30)	CATV

6KV CET38	(FEP80)	高压
CEE2-2C	(FEP30)	警報
CEES2-2C	(FEP30)	D M

補装復旧参考図)

外配線図

[illegible]

特記事項

※掘削時は、埋設管に注意を払い施工する事。

確認日

確認者

株式会社 双 星 設 計  
一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)

代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作
-----	--------	-----	-----	---

代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作
-----	--------	-----	-----	---

代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作
-----	--------	-----	-----	---

代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作
-----	--------	-----	-----	---

代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作
-----	--------	-----	-----	---

工事名称 (プロジェクトNo 240602 )  
奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署  
災害復旧工事 (電気設備工事)

縮尺	年月日
A3 1/800	2

屋外配線図

图番号	— 2 —
-----	-------

图番号	— 2 —
-----	-------



工事仕様書 (機械設備)

## I. 工事概要

1. 工事名称 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事

2. 工事場所 輪島市 杉平町

3. 完成期日 令和 7 年 ※※ 月 ※※ 日 (余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。)  
 指定部分 ・ 無 ・ 有 (指定期日: 令和 年 月 日) 対象部分 ( )  
 概成工期 ・ 無 ・ 有 (令和 年 月 日) (1.2.1(6))

#### 4. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延面積 (㎡)	消防令別表第一	備 考
消防署 庁舎	鉄骨造	地上3階建、黒綿塔	3,240.5㎡	15項 (ロ)	
訓練棟 (主塔)	鉄骨造	地上5階建	161.45㎡		
訓練棟 (副塔)	鉄骨造	地上3階建	160.23㎡		

## 5. 別契約の関連工事

・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 給排水衛生設備工事 ・ 空調設備工事 ・ 構内交換設備工事  
・ 昇降機設備工事 ・ 自家発電設備工事 ・ 厨房機器設備工事 ・ 屋外付帯工事 ・ 植栽工事

## 6. 工事内容

庁舎 鉄骨造3階建、無線鉄塔 被災損傷部の復旧

## II. 工事仕様

1. 一般仕様

1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。

2. 特記仕様

章は●印の付いたものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項
● 一 般 事 項	1 工事実績情報	請負金額5,000千円以上の工事は工事実績情報登録を行う。(11.4)
	2 施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。(11.5(3))
	3 他工事との取り合い	スリープ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表－1によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合せる。(11.7)
	4 工事の記録等	工事総合進捗表、工事日誌、工事出面報告書、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末ごとに提出する。(12.4)
	5 施工条件	・ 新築工事 ○ 改修工事 (○ 執務並行改修 ・ 全館無人改修) (13.3) ・ 工事用車両の駐車場所等は図示による。(改13.3)
	6 発生材の処理等	・ 引渡しを要するもの( ・ ) (13.9(2)) ・ 特別管理産業廃棄物( ・ 廃石綿(エルボ保温、パッキン) ・ ) ・ 現場で再利用を図るもの( ・ ) ・ 再資源化を図るもの( ・ コンクリート ・ アスファルト ・ 木材 )
	7 再使用機材	・ 取外し後再使用するものは図示による。(改14.3)

章	項 目	特 記 事 項																				
一般	8 事前調査	石綿含有分析調査を ・ 行う (図示 箇所) ・ 行わない (改15.2)																				
	9 養生	1) 既存部分の養生範囲は、図示による。 (改31.1) 2) 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。 (改32.1)																				
	10 撤去等	1) 回収を要する機器及び配管の内容物 ・ 冷媒 ・ 吸収液 ・ 廃油 (改41.1(3)) 2) 石綿の撤去は、図示による。 (改41.2(4)) 3) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。 (改42.4)																				
	11 環境への配慮	1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。 (1.4.1(1)) ・ 吸収冷温水機 ・ 水蓄熱式空調機器 ・ 送風機 ・ ポンプ ・ ガスエンジンヒートポンプ式空調和機 ・ 下塗用塗料(重防食) ・ 大便器 ・ 自動洗浄装置及びその組込み小便器 ・ 自動水栓 2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。 (1.4.1(2)) ① JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用																				
	12 機材の品質等	1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。ただし、仮設に使用する機材は新品に限らない。 (1.4.2(1)) 2) 機器類の能力、容量等は図示された数値以上とする。 3) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として図示された数値以下とする。 4) 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(最新版)」(一社)公共建築協会)等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。																				
	13 一級技能士の適用	<table><tr><th colspan="4">機 材 名 称</th></tr><tr><td>ボイラー</td><td>空調調和機</td><td>ポンプ類</td><td>タンク</td></tr><tr><td>温水発生機</td><td>空気清浄装置</td><td>ダクト付属品</td><td>消火装置</td></tr><tr><td>冷凍機</td><td>全熱交換器</td><td>自動制御</td><td>厨房機器</td></tr><tr><td>冷却塔</td><td>送風機類</td><td>衛生器具ユニット</td><td>鉄製製ふた</td></tr></table> ・ 配管(建築配管) ・ 建築板金(ダクト製作及び取付け) (1.5.2(1)) ・ 熱絶縁施工(保温保冷工事) ・ 厨房設備施工(厨房機器据付け及び整備) ・ 冷凍空調調和機器施工(冷凍機、パッケージ形空調調和機据付け、整備及び冷媒配管) 受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。 (1.5.7)	機 材 名 称				ボイラー	空調調和機	ポンプ類	タンク	温水発生機	空気清浄装置	ダクト付属品	消火装置	冷凍機	全熱交換器	自動制御	厨房機器	冷却塔	送風機類	衛生器具ユニット	鉄製製ふた
	機 材 名 称																					
	ボイラー	空調調和機	ポンプ類	タンク																		
	温水発生機	空気清浄装置	ダクト付属品	消火装置																		
	冷凍機	全熱交換器	自動制御	厨房機器																		
	冷却塔	送風機類	衛生器具ユニット	鉄製製ふた																		
	14 工事の創意工夫等	建築物の室内空気中の濃度測定を ・ 行う ・ 行わない (1.5.8) 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。 中間検査の実施 ・ 無 ・ 有(時期 ・ 天井下地完了時 ・ ) (1.6.2)																				
15 化学物質の濃度測定	建築物の室内空気中の濃度測定を ・ 行う ・ 行わない (1.5.8) 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。																					
16 中間検査	中間検査の実施 ・ 無 ・ 有(時期 ・ 天井下地完了時 ・ ) (1.6.2)																					
17 完成図	原図及び製本(等倍 1 部、A 3 縮小 2 部)提出する。 (1.7.2)																					
18 保全に関する資料	保全に関する資料は次のとおり、 2 部提出する。 ①建築物等の利用に関する説明書※ ②機器取扱説明書(主要機器一覧表とも) ③機器性能試験成績書(総合試運転調整報告書とも) ④官公署届出書類 ※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き 手引きのダウンロード <a href="http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_kentikubuturiyou_tebiki.htm">http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_kentikubuturiyou_tebiki.htm</a> (1.7.3)																					
19 足場類	内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。 (改22.1)																					
20 工事用水等	・ 既存施設に量水器等を設けて使用できる(有償) ・ 水道局引込み等 (改22.2)																					
21 仮設間仕切・扉	設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。 (改22.3)																					
●共通事項	1 総合試運転調整 下記の項目の測定報告書(測定箇所は監督員の指示による)を提出する。 (1.3.3) ・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 振動の測定 ・ 飲料水の水質測定(・ 11項目 箇所 ・ 16項目 箇所) ・ 雑用水の水質測定(建築物環境衛生管理基準による。)																					

章	項 目	特 記 事 項
●	2 配管等	1) 仕切弁はJIS又はJV（・ 5K ◎ 10K（水道直結等の図示部分））とする。（2.2.1） 2) 絶縁継手の取付け箇所は、図示による。（2.2.1） 3) 建物導入部の変位吸収方法は次による。ただし、排水及び通気配管を除く。（2.4.1(3)） 標準図（・ (a)フレキシブルジョイント ・ (b) ・ (c) ）による。（2.5.7(1)） 4) 呼び径60S以下のステンレス鋼管は、（・ プレス ・ 拡管 ・ ）接合とする。（2.5.10(2)） 5) ポリエチレン管の接合方法は、（・ 電気融着 ・ メカニカル）とする。（2.5.15.12(4)） 6) 溶接部の非破壊検査を ・ 行う ・ 行わない（2.7.1(8)） 7) 地中埋設標の設置箇所は、図示による。（2.7.1(8)） 8) 埋設表示用テープ（信折）を土被り150mm程度の深さに埋設する。（2.7.1(9)） 9) 埋設深さは、図示が無い場合、車両道路（・ 60cm ・ ）、（2.7.2） その他（・ 30cm ・ ）以上とする。
	3 防凍保温	屋外露出部（給水管、消火管、膨張管、冷温水管、弁類を含む）は 防凍保温を行い、保温材の厚さは配管の呼び径25mm以下のものは50mm以上、それ以外は40mm以上とする。（3.1.6）
	4 塗装	下記の亜鉛めっきを施した露出ダクト及び露出配管は、塗装を行わない。（3.2.1.1） ◎機械室（エレベーター機械室） ◎電気室（自家発電室） ◎倉庫 ・
	5 吊り及び支持金物の防錆	多湿トレンチ内等の吊り金物、支持金物類は溶融亜鉛めっき処理又はステンレス鋼製とする。（3.2.2.1）
	6 監督員事務所等	1) 監督員事務所を ※ 設けない ・ 設ける[ ・ 1号（10㎡程度） ・ 2号（20㎡程度） ]（4.1.1(4)） 2) 監督員事務所に設ける備品等 ・保護帽 ・ 墜落制止用器具 ・ 長靴 ・ 合羽 ・ 机 ・ 椅子 ・懐中電灯 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 寒暖計 ・
	7 快適トイレ（快適トイレ実施要領に基づく）	3) 設計図を工事監理用に製本（等倍 1 部、A 3 縮小 2 部）し、監督員事務所等に置く。 ・ 快適トイレを設置する ・ 快適トイレを設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる 快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。
通	8 工事現場の表示板	工事現場には、下記表示板を設置する。（記入例）（4.1.1(4)） <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center;">             上段の地色は白色 文字は青色               下段の地色は青色 文字は白色           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 10px;"> <div style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">工 事 名</div> <div style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">工 期 自 年 月 日～至 年 月 日</div> <div style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">発 注 者 石川県土木部営繕課</div> <div style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">設 計 （建築・設備委託業者名を記入）</div> <div style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">監 理 （建築・設備委託業者名を記入）</div> <div style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">施 工 建 築 （施工業者名を記入）</div> <div style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">電 気 （施工業者名を記入）</div> <div style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">機 械 （施工業者名を記入）</div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;">この工事は、週休2日に取り組んでいます</div> </div> <div style="margin-left: 10px; align-self: center;">             60cm ～75cm           </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>             90cm           </div>
		設計及び監理の欄は、実施設計及び工事監理が委託発注された場合。 工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は角ゴシック体とする。
事	9 埋め戻し土	※ 根切り土の中の良質土（ただし、管の周囲は山砂） ・ 山砂（4.2.1(4)）
	10 建設発生土の処理	・ 現場内で処理（4.2.1(4)） ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 場外搬出適正処理（「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。） ※ 指定（想定）搬出先 受入場所： 受入時間帯： 時 分～ 時 分 仮置き等：
	11 はつり	1) 放射線透過検査を ・ 行う ※ 行わない（但し、鉄筋探査は行う。）（改4.1.2） 2) 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。（改4.1.3） 3) 既設基礎の解体、撤去後の床補修は、図示による。（改4.1.5）
	12 あと施工アンカー	1) 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。（改5.2.1） 2) 施工後確認試験（引張試験）を ・ 行う（箇所） ・ 行わない（改5.2.3）
項	13 県内産材料	石川県建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第6条の2第7項により、調達する工事材料は石川県産とするように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。
	14 材料検査	請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。 ・ 熱源機器 ・ 空調機器 ・ ポンプ類 ・ ダクト及び付属品 ・ 衛生器具 ・ タンク類 ・ 消火機器 ・ 合併処理槽 ・ 厨房機器 ・
	15 工事写真等の記録	1) 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和3年改定）」による。

最終改訂 R 5. 4. 1

[illegible]



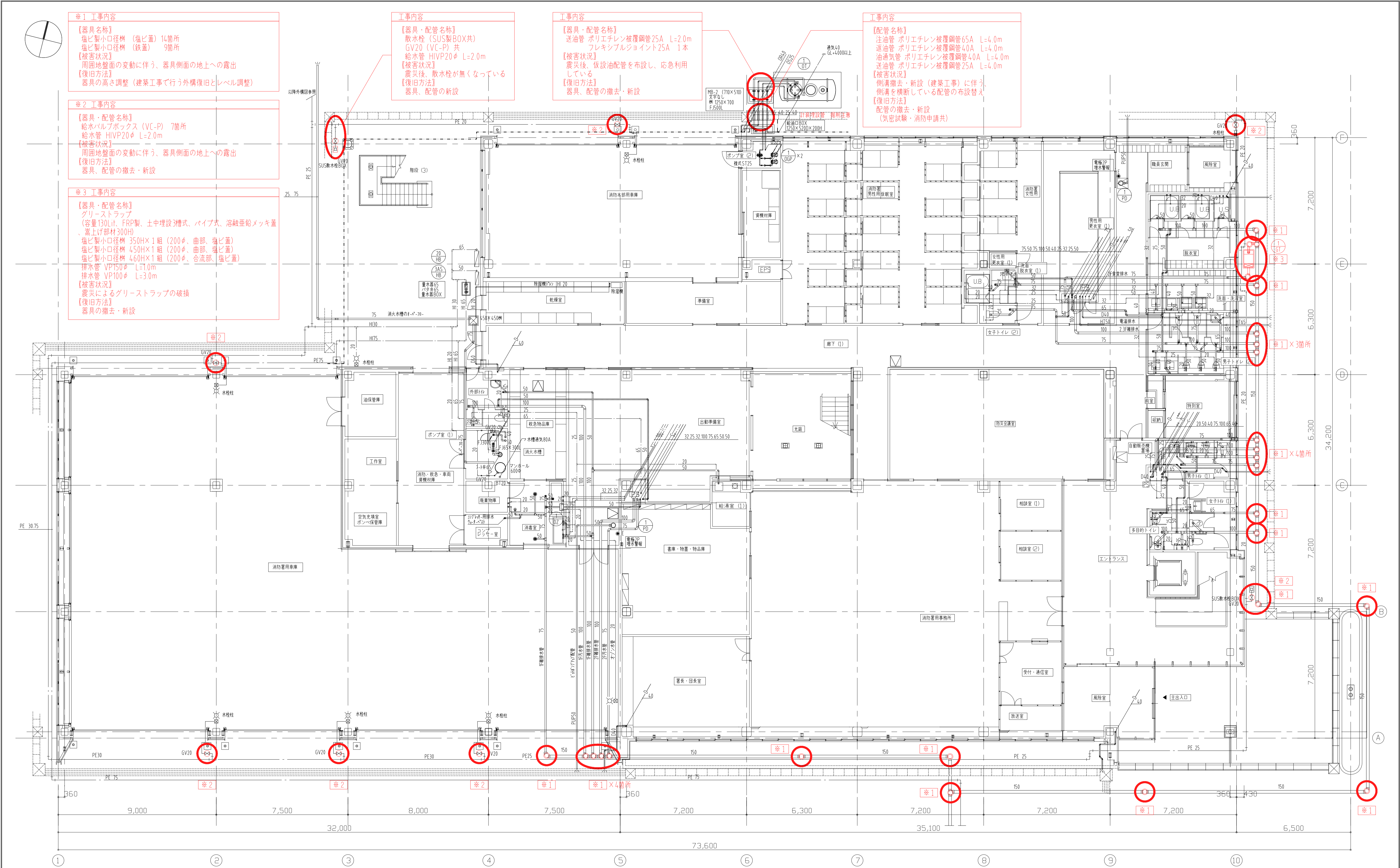


章	項	目	特	記	事	項	
○	1	いしかわ週休 2日工事					1) 適用 工事現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」（以下、「週休2日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。 なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室HPの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。 ※ 発注者指定型 ・ 施工者希望型（災害復旧工事の場合のみ）  2) 発注者指定型の内容 （1）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （2）受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を工事工程表（様式1を標準とする。）に記入し、監督員に提出・共有すること。 （3）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （4）受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。 （5）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 （6）当初設計において、週休2日（4週8休以上、現場閉所率28.5％（8日/28日）以上）を前提に補正係数1.05により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正している。 （7）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合は、（6）の補正分を減額する。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。  3) 施工者希望型の内容 （1）受注者は、現場着手までに、協議書（様式2）により週休2日工事の実施の有無を発注者と協議すること。協議の結果、週休2日工事を行わない場合は、以下の（2）から（8）は実施しない。 （2）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （3）受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を工事工程表（様式1を標準とする。）に記入し、監督員に提出・共有すること。 （4）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （5）受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。 （6）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 （7）当初設計において、週休2日を前提とした計上をしていない。 （8）発注者は、週休2日（4週8休以上、現場閉所率28.5％（8日/28日）以上）の確保が確認できた場合、補正率1.05により労務費を補正し、請負代金額を変更する。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。

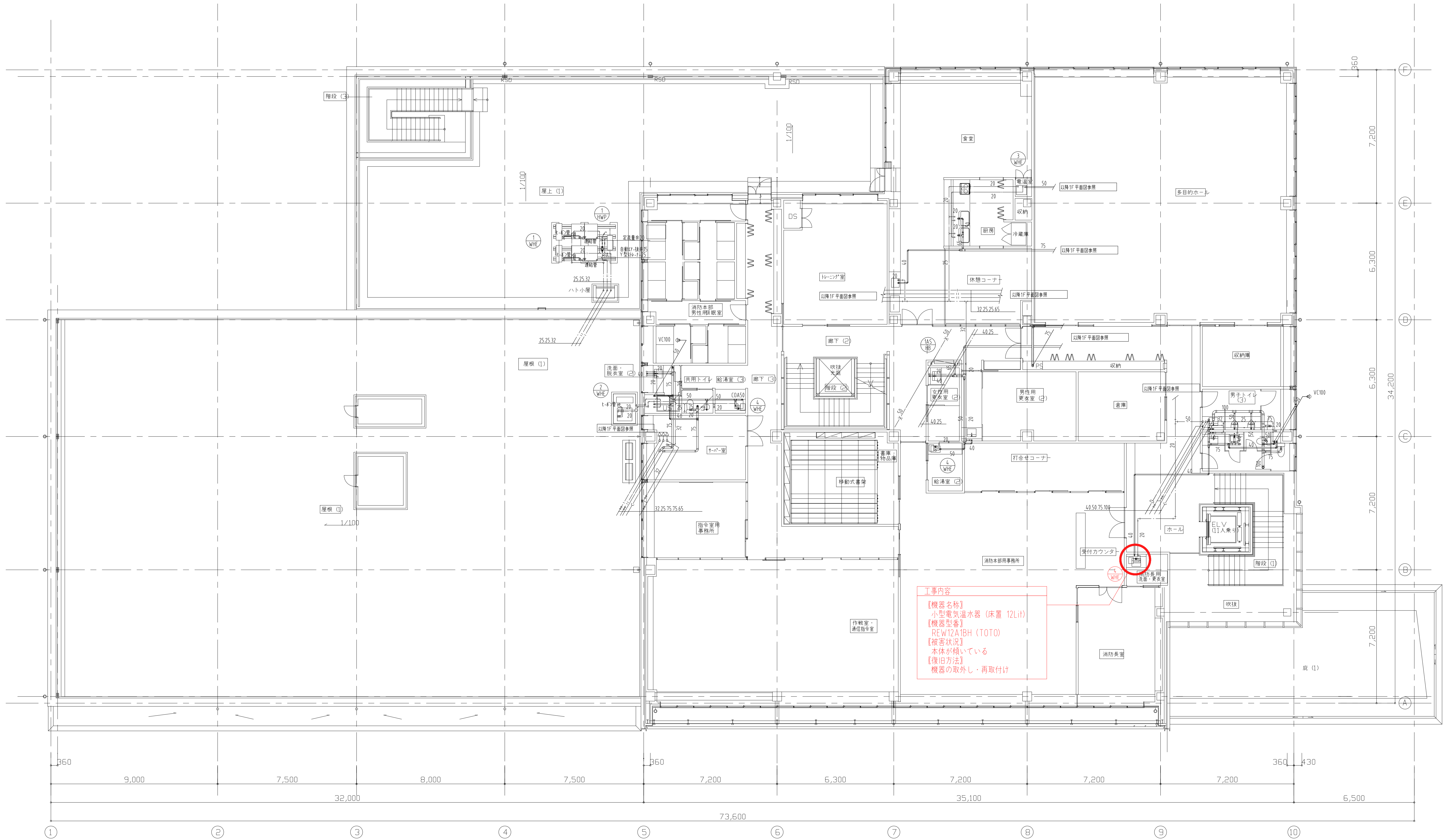
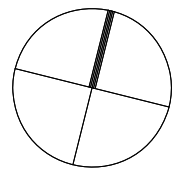
特記事項		確認日			監 査 双 星 設 計 一級建築士 中村 武嗣（登録番号174376号）	工事名称（プロジェクトNo. 240602） 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事（機械設備工事）	図面名称 機械設備工事仕様書（3）						
		確認者						代表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	縮尺
											A3 1/200	2025 . 02 .	M403





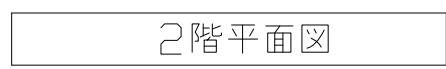
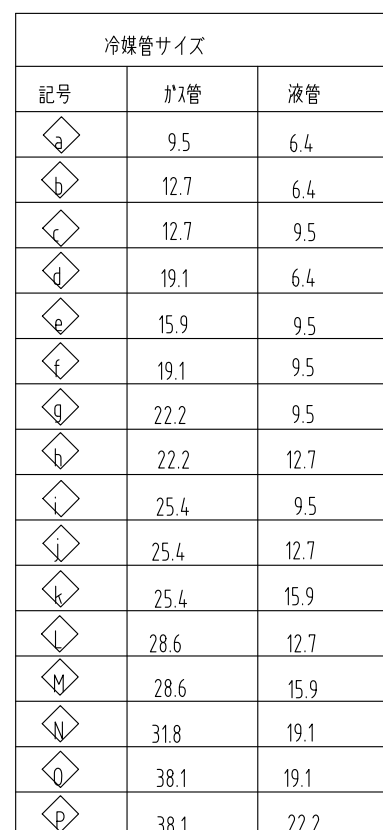


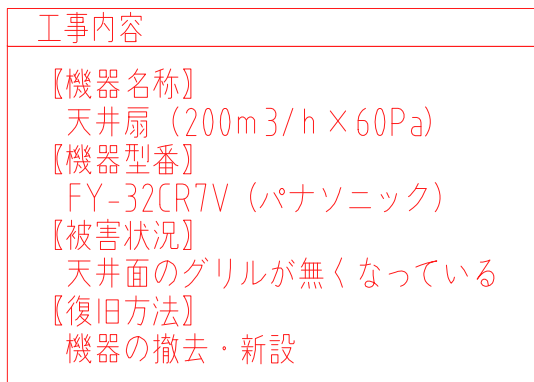
特記事項	※据附時は、埋設管に注意を払い施工する事。										確認日			雙星設計				工事名称 (プロジェクトNo. 240602)		図面名称 給排水衛生設備					
														一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)				奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署		1階平面図 (庁舎・車庫棟)					
																		災害復旧工事 (機械設備工事)		(庁・土間配管)					
	確認者													代 表		設計監理部長		検証者		主担当		作成			
																		縮尺		年月日		図面番号			
																				A3 1/200		2025・02		M405	



特記事項											確認日				雙 星 設 計				工事名称 (プロジェクトNo. 240602 ) 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事 (機械設備工事)		図面名称 給排水衛生設備										
															一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)						2階平面図 (庁舎・車庫棟)										
											確認者				代 表		設計監理部長		検証者		主担当		作成		縮尺		年月日		図面番号		
																										A3 1/200		2025. 02 .		M406	



[illegible]



工事内容	
《機器名称》	天井扇
《被害状況》	天井面からのずれ
《復旧方法》	機器の取外し・再取付け

廊下 (1)	1
VHS 1500×300	
OA= 1680 CMH	
消音BOX GW25t 1700×500×450H	

地下 (D)	1
VHS 900×300	
EA= 800 CMH	
消音BOX GW25t 1100×500×400H	

席下 (1)	
GV 300×300	2
PASS= 325CMH	
消音BOX GW25t 500×500×400H	

男性用更衣室 (1)	
GV 350×350	2
EA= 375 CMH	
消音BOX GW25† 550×550×400H	

工事内容	
【器具名称】	
制気口 (GV350×350)	
【被害状況】	
天井面からのずれ	
【復旧方法】	
器具の取外し・再取付け	

工事内容

【機器名称】  
天井扇

【被害状況】  
天井面からのずれ

【復旧方法】  
機器の取外し・再取付け

※1※2	工事内容
【被害状況】	ダクト（天井吊り）の支持材が外れている ※1※2計8箇所
【復旧方法】	ダクト支持材の撤去・新設 移動式足場による施工

消防署用車庫	
KMG 250	16
OA= 750 CMH	

空氣充填室	
HS 1000×300	
OA= 2500 CMH	
消音BOX GW25t 1200×500×600H	1

空气充填室	1
HS 1000×300	
EA= 2500 CMH	
消音BOX GW25† 1200×500×600H	

空氣充填室	
HS 1000×300	
OA=2500 CMH	1
消音BOX GW25t	
1200×500×500H	

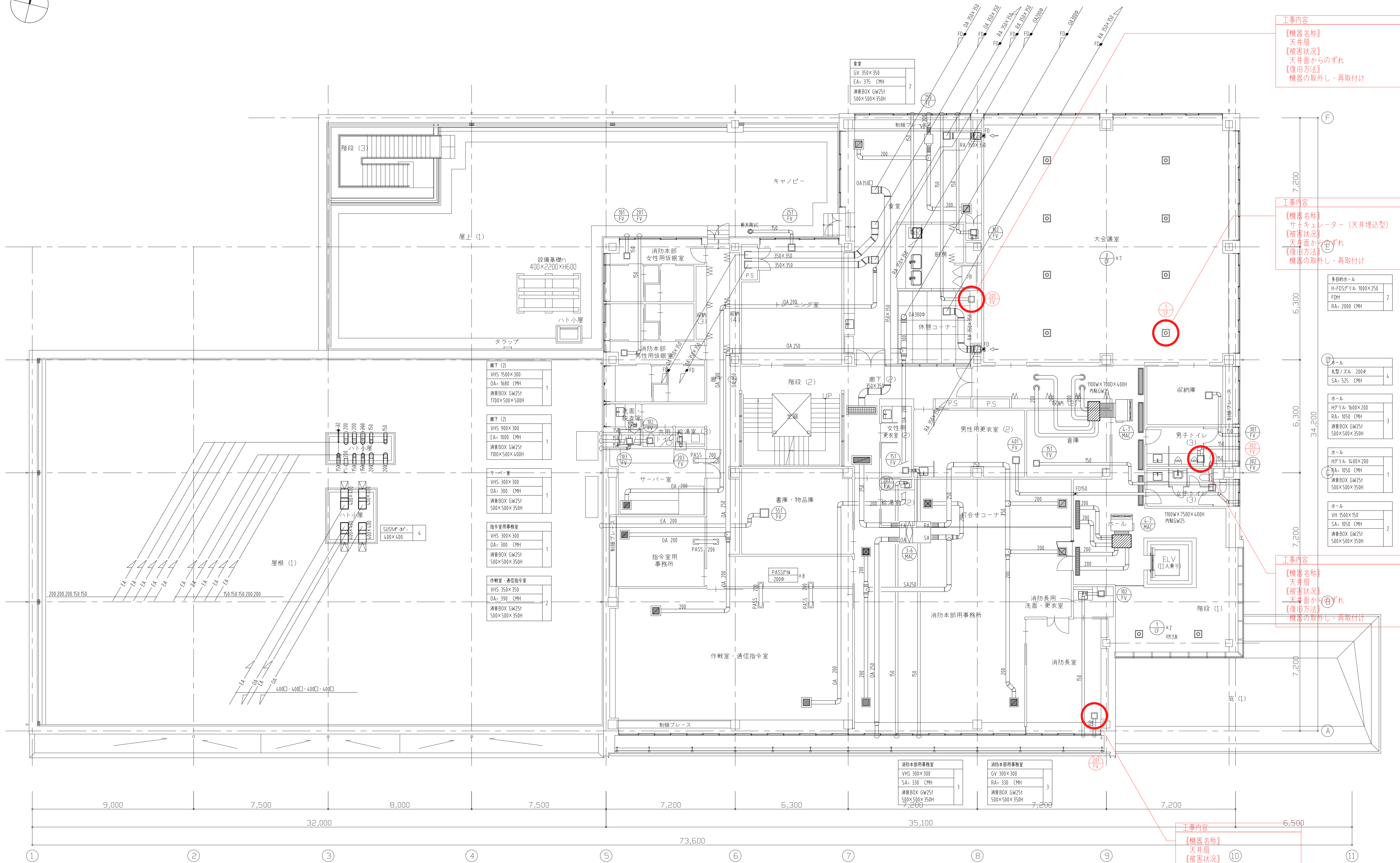
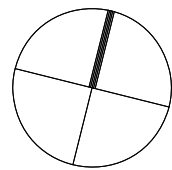
空氣充填室	1
HS 1000×300	
EA= 2500 CMH	
消音BOX GW25t 1200×500×500H	

消防署用事務所	4
VHS 350×350	
OA= 400 CMH	
消音BOX GW25t 550×550×400H	

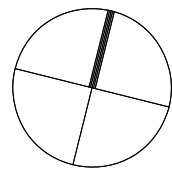
消防署用事務所	4
GV 350×350	
RA= 400 CMH	
消音BOX GW25t 550×550×400H	

特記事項		確認日			雙星設計				工事名称（プロジェクトNo. 240602） 奥能登広域圏事務組合消防本部、輪島消防署 災害復旧工事（機械設備工事）	図面名称 換気設備 1階平面図（配管）	
					一級建築士 中村 武嗣（登録番号174376号）						
		確認者			代 表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	縮尺 年月日	図番番号
										A3 1/200 2025・02・	M408

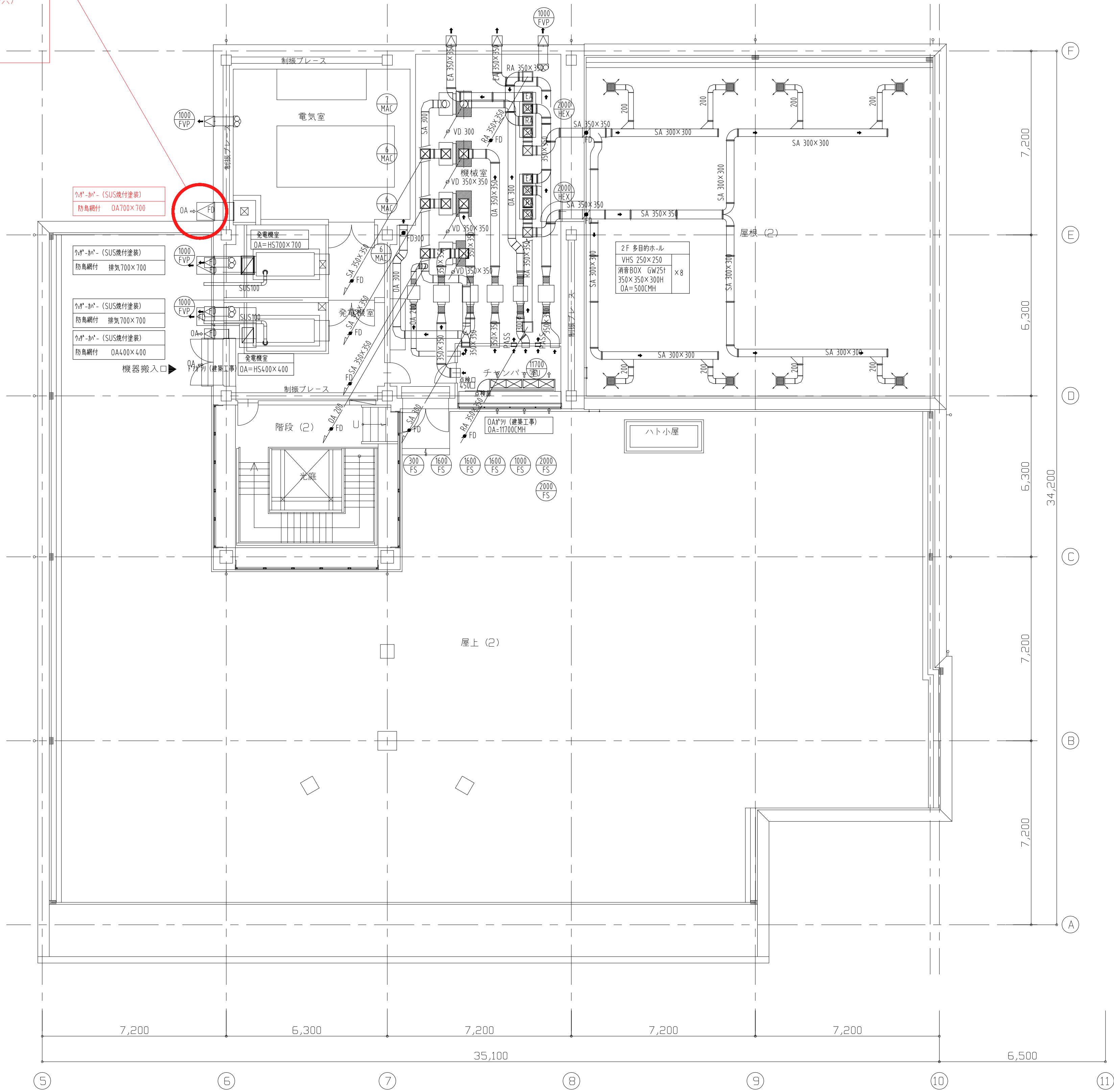




特記事項					確認日		雙星設計 一級建築士 中村 武嗣（登録番号174376号）	工事名称（プロジェクトNo. 240602） 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事（機械設備工事）	図面名称 換気設備 2階平面図（配管）
					確認者			縮尺 A3 1/200	図面番号 M409
								年月日 2025・02・	



工事内容  
【器具名称】  
ウェザーカバー700×700  
(SUS製、焼付塗装、FD共)  
【被害状況】  
FD閉鎖  
【復旧方法】  
器具の撤去・新設



3階平面図

特記事項						確認日				雙星設計			工事名称 (プロジェクトNo. 240602) 奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署 災害復旧工事 (機械設備工事)		図面名称 冷暖房換気設備 3階平面図 (配管)	
										一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)						
						確認者				代表 設計監理部長 検証者 主担当 作成			縮尺 年月日		図面番号	
													A3 1/200 2025. 02 .		M410	